

第4の封印

アメリカ合衆国、インディアナ州、ジェファーソンビル
1963年3月21日

1 こんばんは。

私たちの頭を下げて今すぐ祈りのひとときを迎えましょう。私たちの優雅な天のお父様、私たちは今夜再びあなたに近づいていきます。そして私達は今夜礼拝に対するあなたの祝福を今求めます。聖霊が来られて、私たちが神様を熱心に求めているこれらの事柄の解釈を私たちにお与えください。

ああ、神よ、私たちが離れるときに私たちが言うことができるような方法で、みんなの交わりが出来るほど貴重なのです。「彼が道に沿って私たちに話したように、私たちの心は、私たちの心の中で燃えていませんか？」

私達は彼が私達と共に在り、私たちが旅をしても私たちが一緒にいることを信じて下さったことに感謝します。私たちはそれをイエス・キリストの御名で求めます。アーメン

2 今夜また主の家に礼拝のために戻ってこれたことを嬉しく思います。

そして私たちは嬉しい…私はとても幸せ…これは来ないだろうと思っていたから、でもついにそれが出来たことによって。そして今回の4人の騎士の最後までこれたことに私はとても感謝していて、これをこの時代においての教会への一つの重要なメッセージであると私は考えています。

もう片方が何なのかわかりません。私はただ日々それをわかる様になっています。ただ神がそれを明らかにし、私はそれを神が私に与えたように、分け与えようとしています。

メッセージを楽しんでいますか？彼らが教会時代にまさにどのように協力し、どのように本当に完全に結合することに気が付けるのでしょうか？それは正に完全にぴったり合うのでしょうか？それは、私にとって、それが教会時代に与えられた同じ聖霊であることを示しているのです。お分かりのように同じ聖霊がそれを与えているのです、それが混ぜ合わされているからです。神の大きな一つの行為が異なった方法で彼自身を示しているからです。

3 あなた方がお気付きのように、神が神ご自身、ダニエルに未来像を示されたように、この場所のヤギのようなもの、あるいは木のようなもの、そして次の場所はそれが塑像であり、物事はそれを常に同じものにするでしょう。私たちはそれを逃さないようにしてください。

さあ、私は確かにほんの数分前にここに座っている、約85歳の小さな女性と話すことに興奮していました。彼女は…ずっと前ではなくほんの少し前、私は西に出て行って、なぜ、オハイオに上った小さな女の子がいたの、私はそう思っていて、その子は白血病の最後の段階で死にかけていました。ええ、白血病は血の癌です。そしてああ、ちょっとしたことは(あなたがご存じのように)とてもひどい状態にあったということでした。彼らは静脈によって彼女に栄養を与えていました - 手術そしてそれで、彼らは本当に貧しい家族でした。そしてこのキッド夫人とキッド兄弟は、主が祈りに答えることについて多くのことを話しました。そして彼らは集まって、私は思い、そして誰かを雇って、少女を連れて行きました。

4 そして、彼女は、6歳、7歳、9歳位の非常にかわいい少女でした。そして彼女は部屋の中に戻ってきました。そして私たちが主の前に行った時、聖霊は彼女に言葉をくださいました。そして、彼らは彼女を連れて行かなければならず…、彼女を連れて行って食べさせなければなりませんでした、お分かりのようにそのような方法でそして彼女が去ったとき、彼女はハンバーガーを食べたがって泣いていました、そしてそれで、彼女は食べ物を口で食べていました。そして彼らは彼女にハンバーガーを与えて、そしてただ食べさせると彼女は自然に食べていたのです。

短期間、ちょうど数日間、彼らは彼女を医師のもとに連れ戻しました、そしてその医者は正に単純に分りませんでした。同じ女の子ではないとさえ彼は言いました。

彼は言った、「なぜ、白血病の痕跡がどこにもない、まったくないのだ。」それで彼女は死にそうでした。彼らは彼女をあきらめて、ただ彼女の静脈を通して彼女に食べさせていたのです。彼女は黄色に変わった(あなたは彼らがどうなったかは分かりますね)そしてそれで彼らは…そして今彼女は他の子供達と遊んでいます彼女は出来る限りの幸せを満喫しています。

5 その別のケースを思い出させられます。ある日私は帰宅したばかりでした。

そこには…間違いでなければ、カンザス州から小さな女の子を連れてきたのは、エписコピアまたは長老派の人でした。

そして医者は彼女が白血病のためにあきらめていました。

そして彼らは彼女に4日間の命だと言いました、私が信じていたのですが彼女はとても悪くなりました。

それで、彼らは彼女を祈ってもらうために、国中を通して4日間雪の吹き溜まりを超えて来たんだと言いました。

そしてその祖父、非常に元気のよさそうな、年配の男性、白髪の方、そして、彼らはシルバークリークのこちら側にある小さなモーテルで彼女をすでに2日過ごしていました(私が推測するに、今そこに建物は建っていません。)

そして、その夜私は彼女のために祈るために行ったのです。

6 それは早朝でした。その夜、郊外からやって来てました。

年配の祖父が床を歩いて、母親が子供の世話をしようとしていました。

そして、私が祈るためにひざまずいている間、聖霊は私に彼らがした母と父の間にある秘密を明らかにしました。

私は彼らを横に呼んでそれについて尋ねました。

彼らは泣き出して言いました、「その通りです。」

それから私は振り返って、私は縄跳びで遊んでいるのを見て、そして今、小さな子供…約3週間ほど経って彼らは私に学校に戻り、縄跳びをして、白血病が全くなかった少女の写真を送ってくれました。

さてこれらの証は絶対的な真実でまた、私はただ神に仕え、神を信じている事によって、彼が本物であることを知っています。

7 私は今、最善を尽くしています、そして私たちの間で何かが…入り込んでいる間に、それをやり遂げています。

そして今、私たちは今夜、神の恵みによって、この第4の封印を取って聖霊が私たちにそれを語らなければなりません。

それでは、黙示録第6章の第7節(第7節と第8節)から始めましょう。

いつも2つの節があります。まず初めにその通知があり2つ目の節は彼が見たものです。

第4の封印を解いた時、第4の生き物が「きたれ」という声を、私は聞いた。

そこで見ていると、見よ、青白い馬が出てきた。そして、それに乗っている者の名は「死」と言い、それに黄泉が従っていた。

彼らには、地にお4分の一を支配する權威、および、つるぎと、ききんと、死と、地の獣らとによって人を殺す權威とが、与えられた。(ヨハネの黙示録第6章7節-8節 口語訳[翻訳者])

今、主よ、今私たちがこれを理解するために助けてください。それは謎です。

8 さて、私たちが教会時代、これらの騎士達、そしてこれらの封印を破って行った時のように、ほんのちよつとした復習の予告編です。さあ、そういうことで今、私たちの心に取り込み、私たちが話をするのに適切な時間を話していきます。

さて、私たちは今、封印を破ること、それが贖いの封印された書物であることに気づきました。そしてその書物は、昔の巻物のように巻かれています。この様な形の書物ではありませんでしたが、つい最近になってきたので、これらの種類の書物となったのです。150年か或いは200年くらいかと推測していますそれから彼らはそれを巻き上げて、それから私があなたにそれがどのように行われたか、そして聖典、エレミヤのどこでそれを見つけるべきかなどを言ったように、終わりをゆるしておくでしよう。

それから次は巻きながらも、終わりはそのように緩んだままでした。

一つ一つが封印されていて、それが七つの書物でした。

そしてそれは…誰も…彼らがいたとき誰もいませんでした。…それは七つの封印された贖いの書物でした。ごめんなさい。

9 天国にも地球にも地球の真下にも、誰もそれを開いたり、見たりするにはふさわしくありませんでした。

そしてヨハネは解くことが出来る人を見つけることができなかったので泣きました。その書物がアダムとエバによって失われた元の所有者の手から取り出されず、彼らが御言葉の権利を喪失した後に戻ってしまったのであれば(約束、彼らの遺産)

覚えておいてください、彼らは地球を支配しました。

彼は素人の神であり、彼は神の息子であり、そして神の息子は素人の神である。

さあ、それは聖書に反していません。

それは奇妙に聞こえますが、イエス様は「神の御言葉が訪れた者と呼ぶなら…」と言われました。

そして、神のことはどこに来ているのでしょうか？預言者たちに。

「神のことが神のもとにやってくる者と呼ぶなら、私が神の子であると言うとき、どうしてあなたは私を非難することができるのか？」わかりますね？

10 さて、彼らは神々であり…人であった。

そして人…あなたがあなたの家族の名のもとに生まれたならば、あなたは息子であり、あなたの父の一部である。それから罪が入って来たとき、私たちは男が争いを乗り越えて雄牛とヤギで覆われた子を育てたことを知りました、しかし罪の染みを完全に清めることができる本当の漂白剤が来るまで、それは元の不信仰者に戻ります。

それがサタンでした。

サタンに戻ったとき、彼は永遠の絶滅の彼の時間を待っています。

今、それは私たちが信じることを示しています。

私たちは彼が絶対に全滅し、全滅すると信じています。

11 私は罪が崩壊すると信じています。そしてそれがイエス・キリストの血に基づいて告白されたとき、それは漂白剤の束に黒インクの滴を落とすようなものです。それは単にそれを化学物質に分解し、それが来たところにそれを戻るのはです。そして、それがイエス・キリストの血が行うことなのです。

それがまた、人を争いを乗り越えて神の子にするのです。それなら彼は……。なぜなら、たとえ彼でさえ、神の創造力が彼の中にあるのです。そして、少なくとも神がそれをされるように命令されることができるときはいつでも、それがされて、私たちは取り戻されるのです。

12 又モーセが雄牛の血の下にあった時……そして彼がその光に出会ったとき、その燃える茂みの火の柱そして彼は神が彼に与えた任務についてそこに立った…そしてまた彼は預言者であった。そして、主のことが彼のところに来たとき、彼はそのことばによって創造されたものさえ話しました

それでは、雄牛の血のその下でそれがなされるならば、イエスの血はどうなんでしょうか？カバーされていないが、完全にそれによって贖われたのです。あなたは贖われた息子として神の前に立っています。

さて分かりますね？教会はその生き方の基準をはるかに超えています。

私たちは本当に出てきて問題に直面するのではなく、何度も調べていると思います。私は私が言いたいことがあります、そして、私は時が来たら話します。

13 そして今、教会のどこかに間違った何かがあることに気づくでしょう。

そして、それがどうすればいいのか分からなくなるまで、人々の心をこね繰り返すのが宗派の制度だと思えます。

そのとおりです。しかし、私たちにそれが明らかにされることが約束されています。そして今、この書物が封印されているこれらの7つの封印、そしてその7つの封印…さて…ヨハネは書くように命じられたがそれらは書くことを禁じられました。

そして、それらの雷鳴の時に、私達はキリスト、あるいは天使が虹と共に降りてきて、彼の足を陸と海の上に置き、その時が尽きたことを誓うのです。

14 その封印が明らかにされたことを知ることによって小羊が仲裁人としての仲介者としての仕事を離れ、権利を主張するために今出てこられたこと、彼の死によって贖われたことなどすべてを私たちは知る事になります。

そして誰もその書物を開く事は出来ませんでした。誰も理解できなかったからです。それは贖いの書物でした。

そして、神である父なる御霊がそれを手にしたのです。なぜなら、キリストは唯一の調停者である調停者として王位にあったからです。それゆえ、その祭壇には聖人マリア、ヨセフ、他には何もいなかったでしょう。それは血だったからです。イエスの血だけが贖いを下すことができました。それで、他に何も仲介者として立っていることができませんでした。そのとおり。他には何もありませんでした。

15 ですから、政治のためにユダと傍受し、他のことのため聖セシリアと傍受するというこの考えはすべて無意味です。そうではありません…私は彼らのような人々が誠実で誠実ではないとは言いません。私はあなたがそれをするに誠実ではないとは言いません、もしあなたがそうするなら、あなたは間違っています。あなたは心から間違っています。そして、なんでも…

あなたは言う、「まあ、この天使は聖ボニフェスに現れて、これともう一方と、また他方にそしてこう言うべきだ。」

私の心の中でそれをちよつとでも疑うことはありませんが、誰かがそのビジョンを見たことは間違いありません。

ジョセフ・スミスがそのビジョンを見たのは疑いの余地がありません。

しかし、それは御言葉の残りの部分によるものではなかったので、それゆえに、私にとっては間違っています。それは御言葉の残りと共に来なければなりません。

16 その様な教会時代と封印と御言葉の残りの方法で。そして、誰かが彼の七つの雷を持っていると誰かが思ったとき、それが残りの他の御言葉と比較されなければ、何か間違ったことがあるのです。それは来ます「主はそうに言われる」このためにそれが聖書です。これが書物であり、これがイエス・キリストの啓示全体です。

さて、私はその時小羊が現れたと信じています。彼らは知りませんでした。ヨハネは泣いていました。すべて隔たりの向こうにあったので、彼は天でも、地上でも、見つけれませんでした。罪です。

17 誰もいなかった…そして御使いもちろん、もちろん、彼はふさわしいと思うが、結局のところ、それは同族の男でなければなりませんでした。人間でなければなりませんでした。すべての人間は性行為を通して産まれたので、そのようなことは一切ありませんでした。それなしに一人お産まれになられた。だから神ご自身がそれを受けて、処女からお産まれになり、そして彼の血はふさわしい者でした。

ですから、神ご自身がそれを受けて、処女誕生でエマニュエルになり、そして彼の血はふさわしいものでした。それから彼がこの争いを横切って代償を払い、私たちの残りの部分への道を橋渡しした時、彼は仲裁者になるためにお座りになりました。

そして彼はそこに座っています、そしてその書物は実際ずっとずっと閉じられています。それはそこにあります、しかしそれはまだ象徴的です。

彼らはそれを見ました。

18 ヨハネは第1の来臨の時に告知を見たことさえあります。

彼は言いました、「白い馬が出ました。彼は騎士でそれに乗っていました。

彼は手にお辞儀をしました。」それは明らかにされていません。いいえ、それはただの象徴です。そして地球上のどんな人に関しても、それが、彼が言うことができるすべてです。そのとおり。彼はつまりぎよろめいたかもしれません、間違いなくあちらこちらで、そしてしばらくして…

それから私達はそれからその黙示録の7番目の御使いのメッセージの書物の中で、それが奥義に従って明らかにされるべきすべてその時(その黙示録第10章1-7節)、彼がしたその時まですでに明らかにされているはずで。

それから7つの雷鳴は彼らの奇妙な声を発し、そしてヨハネはそれが何であるか知っていました…しかし、彼はそれを書き記すことを禁じられていたので、彼はそれを書き記しませんでした。

それは絶対的にそして全くの奥義です。それは象徴でも無でもない。我々はそれが雷鳴したことを知っているだけです。これで全部です。

19 そして今これを研究しています…さあ忘れないでください…さあ、日曜日の朝、私たちは人々の質問に対する答えを持っているので癒しの礼拝を省略しました。さあ、私はあなたがこれら7つの封印について質問して欲しいのですが、もしそれがあなたを悩ませている何か理解できない何かであれば、7つの封印にそれを持ってみましょう。それで私は土曜日の夜までに彼らに答えるのにそれが十分であるかどうかを言うことができます、お分かりのように。それでは、「他に何か」または「これをするべきですか。」または「夢を見た」と言ってください。それらはすべて価値のあるものです、さあ覚えておいてください。彼らはふさわしいものです。しかし、7つの封印をそのままにしましょう。それが私たちに正しいことです。それが集会の指定されているものです、7つの封印。そこに共に居ましょう

20 私は家に行かなければなりません。私は西部郊外のいくつかの集会を開かなくてはなりません。それから、1、2ヶ月かそこらの間に、また戻ってきます。

そして多分、主は私達がそれについて何か他のものを持つことができることを許可するでしょう。多分癒しのサービス、あるいはその時何か、あるいはそれが何であれそれは何でもです。私達はここに来るためにここにすでに7つのラッパを手に入れました、お分かりですね。それから全部が入ってくる、そして7個のガラス瓶から注がれるように…そしてそれはすべてここで混ざっているが、それはすべてまだ奥義になっています。

さて、昨夜私たちは第1の封印がきて騎士であることに気付きました。そして主よ…だから私を助けてください、私は前に決してそれを知ることはありませんでした。これらのことのどれも前に決して知ることがなかったです。そのとおり。それだけではありません…そこに上がって聖書を取り、座って、そしてそのように第4の封印が壊れ始めた時、に座って、ペンを拾い、文章を書き始めます。

21 それから私は戻って行って、私が彼の言ったところを見るとわかります…「まあ、それはどこかで見たようなものです」と思いました。私の一致を得て振り返ってみると(そのようなもの)、そしてここにあります。そして、ここでそれは、またここで終わり、ここでそれはここで戻ってきて、そしてここで、そしてここで。それから私はただそれを結び付けるだけです。聖書と聖書を比較している限り、それが神であることを私は知っています。それはあなたがしなければならない方法です。建物を一緒にまとめるのと同じように、石は石ごとに合っていなければなりません。

22 さて、昨夜、私たちは第3の封印を開けました。最初は白い馬、次は赤い馬、そして次に黒い馬でした。そして私達は騎士がいつも同じ騎士であることを知りました。それが最初に始まった反キリストです。彼は王冠を持っていませんでした、しかし彼は後でそれを受け取りました。そして私達はそれから、彼が地球から平和を得るために剣を与えられたことを知り、そして私達は彼がそれをしたことを知る。それから彼はこのために1ペニーとそのために2ペニーを秤量することによって、お金で教会を得ることの教義を思いつきます。しかし、彼は石油とワインに触れることを禁じられました。そして、それは残された少しでした。

そしてそれから我々は昨夜、石油とワインが何であったか、そしてそれがどんな影響を与えたかの実例で出発しました。それは少し失礼に聞こえたかもしれませんが、しかしそれはまさに真実です。

23 さて、私たちは中断しました…それではここでほんの少しの間よく調べましょう。それから私達はワインの力の所で中断しました油は何を表しているのか—霊なんです(私はあなたがすべてそれをすべて低下させたと思います。あなたがそうしてなければ、あなたはそれをテープで見つけます、もしあなたがしてなければ、そしてその聖句をどこに見つけるべきか。

)…油がない愚かな処女のように常に聖霊を象徴する聖霊である油で賢明な処女、そして預言者たちの中に戻るなど。

そして今、もちろん、私はそこにすべての聖書を引き抜こうとはしていません、そしてあなたが話すことさえできないことがあります。時間がかかり過ぎます。しかし、私はここに聖句付けたりなど、人々に与えるのに十分なほどに配置しようとしています。

それで、彼らに知らせて、私の絵を見ることになるでしょう。

毎月の説教を毎晩その封印の上に持っていてもそれに触れることすらできないでしょう、しかし、もしあなたが封印の1つに座るならば、なぜ、なんと、あなたはあの封印についての月の毎晩の説教を取ることができました、そう、そのうちの1つを見てください。それはいくらですか。しかしそれだけでは最高の場所に当てるだけで、それが何であるかがわかります。

24 今、油が聖霊を象徴していたので…、私たちは油とワインで礼拝とつながっています、常に礼拝につながっています。そしてワインは、私が言いました(それは私にやってくる)ワインはそれが啓示による刺激の力であることを象徴している、そうです。それが何かが明らかにされた時です。それは啓示によって提示されるので、それは信者に刺激を与えます、そうです。それは神が言われたことです。それは奥義です。あなたはそれを理解することができません、そうなんです。そしてしばらくして、神は下って現れてそれを罪に定めます。

25 真実が明らかにされれば、真実もまた罪に定められることを忘れないでください。神は絶えず…その人がどれほど頭が良くても、彼が頭の中でどれほど輝いていても、神が言っていることを支持しなければ、何か問題があるのです。そうです、それは御言葉だからです。

さてモーセが神の靈感を受けてそこに出て行って、「ハエが来なさい」と言ったとき、それが今は御言葉なので、ハエが来ます。彼は言った、「カエルが来て」。カエルが来ます。もし彼が「ハエよ飛んで来なさい」と言ってそれらが来なかったとしたら?お分かりですか?それから彼は主の御言葉を話しませんでした。彼はそれだけ話しました…彼の彼自身の言葉だけ話しました。

彼はただハエがいるべきだと思ったかもしれないと彼自身の言葉を話ただけでしたが、神が彼に言われなかったのでハエは来ませんでした。そして、神があなたに何でも言われて、「あなたはこれをやりなさい、そして私はそれに同意します、これが私の御言葉です」と言われて、そして彼はそれを聖書の中に示します。それが聖書に書かれていなければ、とにかく神はその後ろに立っています。そうです。そしてそれがその外にあるならば、それは預言者に明らかにされます。私たちは、神のすべての奥義が預言者と彼ら1人に知られるようになされていることを理解しています。アモス書第3章7節。

26 さて、啓示の力は信者に刺激をもたらします。ワインの力、天然ワインは刺激することです。

さあ、御言葉の啓示の力が信者に喜びの刺激を与える、満足の刺激、それが証明する刺激、それが証明されているということです。聖書の中で、私たちがそれを新しいワインと呼んでいるのと同じように呼ばれています。私たちはいつも「これらは新しいワインに酔っぱらった」あるいは魂のワインとして言及します。

27 天然のワインは刺激された力でそれ自身を現すように、新しいワインはそれが神の御言葉を現します。御言葉それ自体は霊です。あなた方はそのことを信じますか?それを読みましょう。それを読みましょう。ヨハネ第6章、それからあなたは言わないでください「ああ、誰かがそんなこと言ったな。」見て、それからそれが真実であるかがわかります。第6章の聖ヨハネ、そして私はそれが第63章だと思います。はい。

人を生かすものは霊であり肉は何の役にも立たない。私があなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。(ヨハネによる福音書第6章63節[翻訳者])

28 御言葉自体が霊です。それは言葉の形の霊です。そして、あなたは、それが速められるか、または現実のものにされると、御言葉が働くようになって行動するのを見ます。そうです…ここを見て下さい: 考えは言葉になることができる前に考えなければなりません。さあ、これは神が御言葉に置かれたという神の考えであり、それから私たちが彼からそれを受け取ると、それは御言葉になります。それが、本当に神から来た時な

のです。

さて、私達はそれが刺激され、そしてそれが神の御言葉であるので、それが喜びを与えることを知ります。そして新しいワイン、新しいワインは御言葉が現れると刺激します。それからそれは時々計り知れない喜びをもたらします。私達はそれを通り抜け、喜びがあなたがあふれるまでそのような喜びをもたらします。

29 さて、私は多くの狂信主義があり、人々が続けていることを知っています。私は彼らが音楽の上下に跳ね上がることをすべてのことをする時に時々知ります。そして私はそれがうまくいくことを知っています、そして私もそれを信じます。しかし、その日のうちに音楽が再生されている限り、みんながジャンプして叫んでいるのを見たことがあります。しかし音楽が止まると、彼らは止まりました。私は信じています…私が知る限り、それはまだ大丈夫です。あなたは、人々が正しく暮らしている限り見ることが出来ます。しかし、今何を…あなたは御言葉をもたらす始めます。さて、それこそが実際に命をもたらすもの、つまり御言葉です。そしてそれは新しいワインを刺激する喜びをもたらします。そしてそれは、御言葉が示されたとき、それがペンテコステにあったことです。

30 さあ、見てください、さて、イエス様は彼らに言いました、「ルカによる福音書第24章49節」。**@@見よ、わたしの父が約束されるものを、あなたがたに贈る。だから、上から力を授けられるまでは、あなたがたは都にとどまっていなさい。**父からの約束とはなんでしょう？なぜなら、あなたが御霊を注ぎ出すつもりだったのです。ヨエル書第2章28節、なぜ彼は注ぎ出すつもりだったのか私たちが通り抜けたとき、イザヤ書第28章19節、どのようにして唇や他の舌、そしてこれらすべてのものがあるのでしょうか、彼らはそこに上がってきました、そして、父の約束は何でしたか？

たぶん1人が言ったかもしれませんが、「私たちは十分に長い間待っていたと信じます。さあ信仰によって受け入れなさい。」それは良いバプテスト教義でありました、しかし彼らが同胞と協力しませんでした。それで、あなたが知っている最初の事…それは現実にならなければならなかった、そして彼らは証しを待ちました。

そして、あなたが聖霊を求めるようになったときも、同じことをするのはいい。あなたは信仰によってそれを受け入れることはできません。あなたは信仰によってキリストを受け入れる必要があります。それはまさに正しいです。そしてあなたは聖霊を受け入れます。わかりますね。

31 アブラハムが神を信じ、それが正義のために彼に帰せられたのを見られました、しかし神は彼に確証として、彼に割礼のしるしを与えました。それは私たちがしなければならないのと同じことです。私たちは何か行うまでに聖霊を待つ必要があります。舌で話したからではなく、踊ったからではなく、あるいは感情的になったので、私たちは叫びました。何かが実際に起こるまでは、私はそれがどのような形で出てくるかは気にしません。それが主なことです、行ってきました。

32 そして、私は異言や他のすべてのことを話すことを信じる。それらは大丈夫です。しかし、それ自体では機能しません、そしてそれは機能しないことをあなたは知っています。そうではありません。魔女が異言で話すのを見たことがあり、魔術師が異言で話すのを見て、精神で踊っているのを見ました。鉛筆を置き、それが未知の舌で書いて、誰かがそれを解釈し(そうです)、そして真実を言います。それは正しいです。まさに起こったことを正確に書き、そしてそれはまさにそのような方法でした。

彼らが彼らの頭の上にはこりを投げ、そしてナイフで彼ら自身を切って、ヌーか何かの血でそれを覆い隠し、まさにその通りにしていました…もちろん悪魔を召喚する!だから、あなたはわかります、異言で話すことはしません。

私は人と御使いの異言で話し、慈善団体を持っていませんので、私には何の利益もありません。

キリストの不滅の霊そのようなことは、あなたの聖霊があなたの個人的な救い主になり、あなたの見解をこの言葉にまっすぐにカルバリーに投げかけることを意味するものではありません。この御言葉に何かが起こったのです。そうです。何かが起こっています。誰もそのことについてあなたに話す必要はないでしょう。それが起こった時にあなたは知るでしょう。

33 新しいワイン、それが啓示をもたらすとき、それから明らかにされます。それがペンテコステにあったのです。おそらくそれらから霊があふれ出て、そして彼らはこれが起きるまで待ち、彼らはそれを知るでしょう。

そして啓示の罪が明らかになると、彼らは刺激を受けました。彼らも確かにそうしました。彼らは通りに出

ていました。彼らはドアを閉めてそこで彼らを怖がっていました。そして彼らは通りに出て、彼らが人々の集団を恐れている、彼らに福音を宣伝していました。そのとおり。約束の言葉が正しかったので、何かが起こったのです。

さてここでちょっとだけ止めましょう。

34 それが彼らに肯定的な思いをさせたのであれば、彼ら全員が自分の血で証言を封印したのです。何が起ころうとも彼らはそれを乗り越えたことがなく住んでいた。それはそこにとどまりました、なぜならそれは約束された約束の本当の言葉だったからです。啓示は正当化され、そしてそれらは彼らの血によって彼らの証しを封印することによって死んでしまいました。

さて、終わりの日の約束を見て下さい。そして、ここで私たちはそれが私たちの直前に立証されているのを見ます。聖霊のご臨在が来られ、たぶんするであろうことの仕事をし、そして私たちは私たちの間でそれが正しいことであることを知る。ああ、私たちはした方がいい…ああ、」なんということ！そして私たちは今までにないと思います…！何かが起こる、私はあなたに言います、友よ。本当の、真の、誠実な、先見の明のある信者が…その種にぶつかると、何かが新たな命へと突き出ます。

35 あの井戸の小さな女性、あの学んだ聖職者たちが言いました、「まあ、それは悪魔です。彼は占い師です。彼はただ彼らの運を彼らに伝えています。彼は悪魔です。」しかし、そのあらかじめ定められた子孫を持っていたあの小さな女性が

そうではないとあなたは正しくないと思うが、イエスは言いました、「私の父が彼を引き寄せない限り、だれも来ることはできません。来なさい」そして終わりの日の反キリストは、宗派主義ができるようになり、そしてその宗派主義が反キリストであることを証明したのです。

36 さてそれを越えて、誰でもそこから立ち去ることができます。組織は反キリストではありません。なぜなら、それは歴史から、そこにあるすべてのものから、神の聖書や他のすべてのものを通して鉛直に証明されているのです。それは反キリストであり、ローマはその頭です。そして娘の教会はまっすぐに続いています。そしてそれらの両方は地獄に投げ込まれます。そうです。

それで私達はこの事柄を、反キリスト、その精神を見ます。そして、私たちが生きている日、なぜ、それは喜びを言葉に表せず栄光に満ちたものにするでしょう。あの小さなおばあさんが、それが彼女を襲った途端に、なんということ私の種子が飛び出しました。

37 さて、覚えておいてください、終わりの日にこの反キリストは全世界を欺くだろうと聖書は言っています。世界の創造前に小羊のいのちの書に名前が付けられた少数の人しかいないでしょう。そして、明らかにされた神の御言葉の真実の正当化がその心を打つとき、彼は水を打ち、そして聖霊と一緒に、彼がそうすることができるのと同じくらい難しいと考えるでしょう。そして、あなたは彼がそれをするのを止めることはできません。なぜなら、新しい命が生まれたからです。

38 私はそれほど前ではない時ある人と私は話し合いました。「神は3日で天と地を創造されたと言って恥ずかしいと思いませんか、それとも6日後に言ったのですか」と言ったのです。

私は「それは聖書が言いました。」

「ああ、証拠があり、世界が何百万年も前のものであることを証明することができます」と私は言いました。「それはそれとは何の関係もありませんでした。」私は言いました。

創世記1:1で、彼は言いました、「**初めに神は天と地を創造されました**」。

それで全部です。今、世界には形も空虚もありません。」と語りました。

そして私は言いました、「すべての子孫が他の文明や何かからそこに敷設されていたと信じています。そして水が揚げられて光が当たるとすぐに木とすべてがやってきます。」

人間と同じことです。それはタイプなのです。すべての霧が取り除かれ、そこに置かれているその真の種に対する明らかにされた真実がまだ発芽し、福音の光が御言葉の真の命題によってそれを打つことができるとき、それは生きるでしょう。それはそれで人生を得ました。それ以外は生きられません。それはその中に人生を持っていません。

39 それらの名前は、世界の基礎の前に小羊のいのちの書に載せられました。だからこそイエス様はそこに座り、その最後の種まで調停の仕事を待ちます。

リー・ヴェイル(Lee Vayle)博士が打撃を受けた時期を正確に知ることができます。

彼はまだどこかの会議に出席していると思います。

私は何日も彼に会ったことがない。わたしは彼に会っていないことが信じられません。私は彼を見ました。彼はここに居ました。ああ、先日、彼はイレナエアスが言ったことについてこのつまずきを送ってきた(私はイレネウスを時代の御使いになるために長い道のりを選んだ)、彼は言いました、「支体のその最後のメンバーがこの終わりの時代に来たとき、その時に事が明らかになるだろう」と語りました。そしてここでは、まさにその通りです。私たちはそのような時代にいます。

40 さあ、それからペンテコステは喜びを超えていました。彼らは本当に刺激されました。誰でもできると思います。ちょっと待ってみましょう。ダビデについて考えてみましょう。彼もみんな刺激を受けました。彼は言いました、「私の聖杯は走り去った。」つまり、彼は本当に人生で素晴らしい出来事をしたのです。何が彼にそれをさせたのですか？彼が御霊のうちにいたとき、彼は預言者だったのです…。私たちは彼がいたことを知っています。聖書はそう預言者、ダビデを言いました。さて、彼は預言者であり、彼は御霊にあったので、彼は復活を見ました。それを読みたいのであれば、詩篇第16章8節から11節に書かれています。「**私の肉は喜ばれました。私の魂を地獄に置き去りにしたり、汚職を見てあなたの聖なる者を苦しめたりすることはないでしょう。**」

彼はそれが何であつても見なかったので彼の聖杯がひっくり返るのを見た聖職者を見て、ああ、彼は復活を見ました、そして、彼は本当にそして彼の聖杯がひっくり返りました。

41 またダビデは、サムエル記下でもう一杯溢れていた(鉛筆を持っているなら出してください。)サムエル記下6章14節。乾いた呪文がありました。彼らは箱舟を取りました。敵は入ってきて主の箱を手に入れました。そして彼らはそれを取り、龍の前に立ち上げ、龍は彼の顔に落ちました。それを別の都市に持ち帰ると、ペストが発生しました。それは彼らがあちこちで彼らの手に持っていた最も熱いものでした。そして、彼らはそれがその場所から出ていたので、それを取り除くことができませんでした。

さて、彼らが牛車にそれを置いて戻って始めたとき…。そしてダビデが主の箱の到来を見たとき、あなたは彼がしたことを知っていますか？みことばが再びイスラエルの中に現れたのを見たとき、彼はとても満腹になり、刺激を受けながら走り抜けました。そのように、彼は霊の中で何度も何度も何度も何度も回ってそのように踊りました。ええ彼の杯はひっくり返りました。どうして？彼は御言葉が戻ってくるのを見ました。

私はこれらの年々を終えて見ると、そしてそれから約束によって正しい御言葉がそうなったとき、持ち出されて証しされ、誰かが少し刺激を受けるようになると思います。なんと言う時代！なんと言う時代でしょう！

42 それでは、読みましょう。私はすべて話します、そして私はこれに到達しません、そして10時半までここにあなたを全部持っています。私は昨夜早くあなたを解放し、それで私は今夜、長い間あなたを保たなければなりません。いいえ、私はからかっただけです。見よ、主が導かれるように、私たちはただ欲しいのです。

さて、**彼が第4の封印を開いたとき、私は第4の獣の声が聞こえるのを聞きました…。**

43 **小羊が4番目の封印を開いたとき…。**さあそこで今止めましょう、第4の封印。

さあ誰がそれを開きましたか？小羊。開けるにふさわしい人が居ましたか？他にだれも出来ませんでした。小羊は第4の封印を開封し、4つ目の獣(ワシのような生き物)はヨハネに言った、「小羊が彼の書物の中の奥義を見なさい。」それを開く、言い換えれば、それは彼が言っていたことです。「ここに4つ目の奥義があります。それは象徴的なものです。」さあ、ヨハネ、私は彼がそれを理解したかどうか分からないが、彼は彼が見たものを書き留めました。しかしそれは奥義だったので、彼は彼が見たものを書きました。小羊は封印を破っていた、そしてそれでも神はそれを明らかにするつもりはありませんでした。それは終わりの日のために残されました。そうです。

44 さて、私たちは象徴を持っていました、そしてそれを調べ、そして時々非常に良いことをしました。しかし、私たちはそれが真つ先に動いていることを知っています。そしてそれは教会時代の終わりに、艱難の直前にそこで行われることになっています。

誰がどのようにして教会の患難を乗り越えることができるか、私は知りません。しかし、それが罪を犯していないのなら、それは患難を通ら

なければならぬのでしょうか。私は教会を意味しません。教会は患難を通過します。しかし、花嫁について話しているのです。花嫁は全くそれに対して罪を持っていません。それは漂白されました、そしてその臭いさえありません、何も残っていません。彼らは神の前では完璧です。それでは、苦難はそれらを浄化することができますか？しかし、他の人はそうします。教会は苦難を通過します。

しかし、花嫁ではありません。さあ、私たちは今のようなあらゆる種類の象徴にそれを取り入れているのです。教会、ノア(型が相似した)、は罪の外に行きました、わかりますね。さて彼らは行きました、しかしエノクは最初に行きました。それが大患難期間の前に入るであろう聖徒の種別でした。

45 さて、この小羊が封印を開いたことがわかります。

さて、私たちが最初に見つけた獣…気が付いたら、私たちが最初に見つけた獣はライオン、生き物でした(教会時代の書物の中で見つけました)。それから、2番目の獣は牛か子牛の顔だったと私は思います。そして3番目の獣は人の顔でした。しかし4番目の獣はワシの顔でした。これがまさに私たちが彼らを循環させる方法であり、まさにその通りであり、それがまさにこの書物にも載せられている方法なのです。

46 そしてそれから…、フロリダで説教しているとき偉大な先生がいました、使徒行伝は教会の単なる足場仕事であり教会は4つの福音書の中にありました。そしてそのことから逆もまた同じです：使徒行伝を守っているのは四つの福音書です。使徒行伝が書かれているのは、これらの4つの福音書からです - 使徒たちの中の聖霊の働き。そして私達は書物の中で、彼らの警備員が東、北、西、そして南を見ながらそこに座っているのを見つけました。我々がここでそれをどのように引き出したか、そしてどれほど美しく、完璧にすべてがその場所にまさに当たったか覚えていますか？

47 さて、あなたに気づいて欲しい。ヨハネは「来たりませ」と言いました。…さて私はあなた方に再び気づいていただきたい、これの前…さてこれで、反キリストの働きを明らかにした最後の騎士です。明日の夜は祭壇の下で魂を打ちます。次の夜、判決。次の夜、去り、時代の終わり、時間の終わり、すべてのものを見て、彼女が連れて行かれるのを見てください。

それで、その第7の封印のすぐそこにガラス瓶を注ぎ、そして他のすべてが注がれる。彼らが何であるか、私は知りません。

48 注意して下さい。しかし、今、ここで、私たちはここでこの仲間がワシ、この男性、またはこの生き物であることがわかりました。言い換えれば、それには4つの異なる時代があります。獅子の時代がありました。そして、私たちはこれが4番目の時代であることを知っています…そして彼は言いました、「来て、この書物に隠されている贖いの書の4番目の謎を見なさい。」そしてヨハネは見に行きました、そして彼は青白い馬を見ました、そしてまたこの青白い馬の上に同じ騎士。さあ、彼は死と呼ばれる名前を持っています。

49 他の騎士の誰も他の馬の誰も、あるいはこの騎士がこれまでに乗ったことのない時に、その男に名前がありませんでした。しかし今、彼は死と呼ばれています。言及されていない…彼は今明らかにされています。彼が何であるか、死です。それを本当の意味で明白にするための説教のために、私たちはどのようにしてそれについて長続きすることができたのでしょうか。しかし、反抗的なもの、現実には反するものは、2つの主題しかないのです、死に至らしめるべきです。それは生と死です。そしてそれは今日の聖霊の啓示がまさに真実であることを証明しています。反逆者、彼は死んでいます。なぜなら、(後で見ますように)御言葉は命だからです。そしてこの男は死と呼ばれます。

50 今、それはこの騎士の他の時について言及されていませんでした。しかし、それ以来…今では彼が死と呼ばれていることが言及されています。しかし、獅子の啓示の下で…さあ見て！私はこの終わりを讀みたので、確かになるでしょう。それはどこかに書き留めました。

ここは内側です…獅子の時代や初代、早い時代の啓示の下ではなく、これは啓示されていません。次の時代は牛の時代で、暗黒時代、中世です。それが何であるかは明らかにされていませんでした。また、改革者ルターやウエズリーなどを代表する知恵の人間のような獣でもなく、それは明らかにされていませんでした。しかし、ワシの時代、終わりの時代、予言的な発言を起こす予言的な時代、秘密が常に訪れます。

51 見てください、さて、私たちはただ…。今夜、あなたは完全に理解するように今、ほとんどの場合、あなた

はこれらを理解しています。私はここでこのグループに話しかけているのではありません。これらのテープは至る所に行きます、そうです。私はそれぞれ明確にしなければならない、誰かが1本のテープを手に入れるだけで、残りの部分が手に入らない場合は、すべてが引き留めているのです、お分かりですね。

神がこれを約束されているのを見て、わかります、この日のために、最後に、これらのさまざまなことが終わって、混乱してしまいました。エリヤの服を着ました。エリヤのローブがありました。ああ、そこに…ジョン・アレクサンダー・ドウィーがローブに包まれて埋め尽くされている人がいます - 彼はエリヤだったと彼は言いました。そして私たちはそのようなものをすべて持っています。とにかくそれは何ですか？提示されようとしている真実を取り去ることだけです。

52 彼らはイエスの時代の前に偽キリストがいたのです。そうです。彼らはいつもそうしています。事が実際に起こる前に、サタンは人々の心と信仰を混乱させるために偽造を実行しています。

ガマリエルはその日、ユダヤ人たちに同じことを言いませんでしたか。

「立ち上がってこれであると告白した男はいなかったのでしょうか。そして彼は荒野に400人を連れ去って死にましたか？」

「私の天の御父が飢えたことのないすべての枝は」、イエスは言いました「根付くでしょう。」

ガマリエルは言いました。彼らを一人にしておけ。もしそれが神のものでなければ、それは無駄になるのではないのでしょうか？しかし、それが神であるならば、あなたは神と戦っているのを発見されます。」その人は知恵を使いました。彼は教師でした。

53 今すぐ気づいて下さい。さて、これらすべての謎を解き明かすために、神は本物のエリヤが上がることを約束されました、その精神で油を注がれた何人かの人、そしてそれは明らかになるでしょう。彼はマラキ書4章でそれを約束しました。

それがそうでないと言ういくつかのメモと手紙を持っていました、しかしその人に話したいです。なぜ、あなたはそれを否定することはできません。本当の善い神学者なら誰でも、それが真実であること、それを探していることを知っています。

しかし、あなたはそれがキリストの最初の前身であるヨハネによってもたらされるのと同じ方法になるでしょう。なぜなら、彼から予言されているようなすばらしいことがあったからです。なぜなら、彼はすべての高いところを低くし、すべての低いところを高くし、すべての粗いところを滑らかにするためです。ああ、彼…彼の誕生の712年前の預言者、イザヤ。そして彼が現場に来る400年前のマラキ、彼から予言されたすべての人たち。そして彼らは天国の廊下を失望させることを期待していた、そしてこの預言者は神から彼の手の中に彼の職員と共に出て行きました。

54 そして何が起こったのか？交わりカードを見せることさえできなかった人、彼は信任状を見せることができなかった、荒野にとどまった、普通の学校教育さえしませんでした。彼は父と母の死後9歳の時に荒野に去り、引き上げられたと歴史家に言われています。彼は、救い主を宣告しなければなりませんでした。

神がすべて神学に満ちた人を使うことができなかったと発表しなければなりませんでした。彼はそれをするができません。それが彼の学問です。彼はそれに漂流します。ですから、彼が何かを見に行くとき、彼は先生が言ったことに漂流しようとしています。改善するならもし彼がそれらのことから離れてただ神だけを信じる。そして私たちは彼らが彼を逃したことを知ります。そこに立っている使徒たちさえ彼を逃しました。

なぜ、彼らは言いました、「なぜ聖書はエリアが彼に言ったと言っているのか(筆者たちは言う)」彼は言いました、「彼はすでに来た、そしてあなたは彼を知りませんでした。」

それが、わたしが復活、もしくは携拳を様式化するところです。

それはうまくいくでしょう、そして彼らはそれが奇妙に聞こえることを知っている、しかし多分あなたは今夜後にもう少し知っているでしょう。誰もそれを知ることができないほど秘密になるでしょう。世の中はいつもそうであったようにちやうどうまくいくと思います。そうです。それがいつもなされたやり方です。

55 地球上の人々の19パーセントが、イエス・キリストがこの世にいたときに、この世にいたことを知っていたかどうか、私は疑います。エリヤが予言したとき、あなたは知っています、彼が彼であることを知っている人

が誰もいなかったかどうか私は疑います…彼らはそこに刺激があり、いくつかの古い狂信さがあることを知っていました。しかし彼らは彼を憎んだのです。

もちろんです。彼らが変わり者と呼んだこと。生まれ変わったクリスチャンは世界にとって1種の変り者だと思います。あなたは別の世界から来ました。あなたの霊は食い違いの中から来ています。そしてここでのこのことはそのようなめちゃくちゃなものです。違いがないのであれば、何か問題があります。あなたはまだまだにも地上的です。あなたは天の心を持っているべきであり、天は御言葉によって生きているのです。

56 さて、このすばらしいことが起こったことに気づきます。さあ、私たちはエリヤの真の精神の到来があることを信じています。それはそうなるだろうと予測されている、そうです。そして私たちはそれ自体の季節と時間にここにあることを覚えておかねばなりません。私達は今そのための基礎を築いているかもしれません。

そしてそれは私がそれについて私の良い友達と同意しない組織ではないでしょう。彼はそれが人々の組織になるだろうと言います。聖句によって私にあなたにそれを見せて欲しい。不変の神、神は彼の計画を変えることは決してありません。もしそのようなことをすれば、彼は神ではありません。そうです、彼は人間であり、私のように彼は知っているので、彼は間違いを犯します。神はエデンの園にいたまさにその時以来彼の計画を変えたことはありません。彼は贖いの計画を立てました。それが血だったのです

57 私たちは教育を試みました。私たちは独裁を試みました。私たちは心理学を試みました。私たちは宗派主義を試みました。私たちは、みんなと一緒に押し付け、みんなを愛し、それ以外のすべてを愛するようにすべてを試みました。他には交わりの場所はありませんが、血の下ではまだ、神が人と出会う唯一の根拠、

神は常に1人の人間を扱っています。2人の男が2つのアイデアを持っています。地球上に2人の主要な預言者が同時に預言することは一度もありませんでした。振り返って、あったかどうかを確認してください。いいえ!あまりにも多く手足がかりました。彼は一人の男を完全に降伏させてその人を使わなければなりません。彼はその人を捜します、しかし、いつか彼を一言ずつ聞く人がいるでしょう。

58 私は他の誰かが言っていることを気にしていません、彼らは決してそこから動かないでしょう。そのとおり。彼らは待つ、「主はこのように仰せられると彼らはそれまで動かないでしょう。彼はきちんと証言されるでしょう。さて、外の世界はそれを嫌います。しかし、選ばれた種は、それがイエスの時代にあったような、予定されていた種のようなものです。その光が点滅すると、その種はそうになります。彼らはそれを知っています。彼らはそれを理解するでしょう。あなたはそれについて一言も言う必要はないでしょう。

彼女は言いました、「あなた、預言者であることを私は知っています。メシアが来るとき…、彼はおそらく…」

彼は言いました「私が彼です。」

もう、それは十分だった!彼女は一晩中タールを塗って、次の夜タールを塗る必要はありませんでした。彼女はそれをすぐに持っていました。彼女は自分の道にいました。彼女はそれについて話していました。

59 さて覚えておいてください。さて最初の時代は獅子の時代でした。それがユダの部族、つまりキリストの獅子、彼自身の人生の影響力はその時代を迎えました。それが最初の獣(力を意味する)で、人間の声で答えました。

次の時代は雄牛の時代、または暗黒の馬の騎士の時代である。さあ、見ているこの最初の時代が白い時代だったのは、その理由です。

…最初の騎士、白は勝利に行った教会の力でした。そして私たちは彼が冠を与えられるのを見つけます、それが冠でした。それが教会でした。それが教会で、しかし彼はどこへ行きましたか?彼はローマに行き、そこに行った彼は王冠を受け取りました

さて、次の時代は雄牛の時代、あるいは赤い馬の騎士でした。そしてさあ、次の時代は暗黒の騎士、男の時代でした。そして、彼は改革者の時代でした、見てください、さあ話した声、黒い馬の騎士、それは反キリストでした。しかしその時代に話していたものは男性として表現されました。それは知恵があり賢いです、抜け目がないです、そうです。そして、彼らはそれを手に入れませんでした。彼らは電話しませんでした…彼らは彼に名前を付けなかった、そうです。彼らはただそう言って、行きました。

60 しかし、今ではワシの時代がやってくるとき、それは神がその預言者をワシにたとえているということです。彼は彼自身をワシと呼びます。ワシはとても高くなり、他に何も彼に触れることができません。彼はそこにいてだけでなく、その立場のために建てられました。彼がそこに起きるとき、彼は彼がどこにいるのか見ることができます。何人かの人々はそこに起きて、彼らがどこにいるのか見ることができないので、彼らがそこに起きるのは駄目です。あなたはカラスにワシまたはタカのどちらかと一緒に飛ばそうとさせます、彼は崩壊します。彼は彼が行くところに圧力をかけられるべきです。

61 それは今日の問題です。私達の何人かは加圧されません。お分かりのように、私たちがジャンプしていて私たちも急いで爆発しすぎます。しかし、私たちは加圧される必要があります。あなたがそこに起きたとき、何がやってくるのかを見て、何をすべきかを知るために、ワシの鋭い光景を持ってください。さて、ワシの時代はそれを明らかにしました。さて、黙示録第10章7節、そしてマラキ書第1章4節で終わりの日になるとワシの時代が約束されていたことがわかりました。そうです、それはここにあるでしょう。大丈夫。

62 気が着いて下さい。さて、この人、私たちは彼が青白い馬に乗っていることを知りました。青白いああ、なんということ！注意して下さい、昨夜、ローマの殉教者のシュマツカーの『Glorious Reform』から引用した68,000,000人のプロテスタントの後、注目に値します。私たちは1500マークだけ見つけます、(わたしはそれだったことを信じていて、それが18歳の時で、いまでも本当に忘れられません。)…しかし、最初のローマ教会 - ローマに抗議したために68,000,000人の死者が出ました。

彼…が擬人化された名前で人を装うことが出来、そして死と呼ばれるにおも不思議ではない。彼が偽名で偽装することができたのは当然のことです…そして死と呼ばれます。彼はきっとそうでした！今すぐ神は、彼が聖書の言葉による教えによって霊的に死に至らしめた数だけを知っています。これは彼が68,000,000人を剣で刺し殺したものです。そしておそらく文字通り何十億もの人々が彼の誤った教えで霊的に死にました。彼が死という名前を取ることができるのも不思議ではありません。

63 騎士がわかりますか？反キリストとしての最初の場所、彼の最初は死でしたが、彼はその時無実でした。それから彼は王冠(三重のもの)を受け取り、そして彼がしたとき、それから彼は団結しました…サタンは彼がそれらの両方の上にあったので彼の教会と国家を統一しました。反キリストは人間の形をした悪魔でした。

そしてまた、マタイによる福音書、それは第4章で、悪魔が私たちの主イエスを受け入れ、世界の王国を彼に示されたことを私たちに告げ、一瞬のうちに、そしてそれらの栄光も、それらを彼に捧げ、彼らは彼のものであると言いました！

それで、彼が彼の国家と彼の教会と一緒に団結させることが出来る事なら、赤い馬の騎士は十分に乗りこなせることがその時に分かります。

本当に！

64 それから私達はここで彼の教会と国家で彼の奥義を見つけます。彼の証しの第四段階、彼は獣と呼ばれています。最初に彼は反キリストと呼ばれ、それから彼は偽預言者と呼ばれ、そして彼は獣と呼ばれます。さて、私たちはここで獣と呼ばれている物を見つけます…。

さあ、私はあなたにそれが4番目の馬の後に気付いて欲しいです。そして、この4頭目の馬では、お気づきのとおり、すべての…最初のは白、次のものは赤、次のものは黒、そして4番目のものです。それは、淡い色が赤と白で、混ざっているからです。わかりますか？この1頭の馬の中にすべて混在しています、そうです。そしてそこに彼は4つ、あるいは実際には3つ1つになっています、そしてその1つにすべてが混同されています。

65 さあ私はあなた方にそれら4つのことに気付いて欲しいです。4つの霊的数学のオフマークに注目して欲しいです。神は3です。これは4です。彼はここに4人います。まず、反キリスト、白。第2に、偽預言者、赤。第3に、天と地と煉獄の牧師、黒。第4に、獣、青白い馬、サタンは天から追い出されました。それを読みたいですか？ヨハネの黙示録第12章と第13章サタンが天から追い出された後、ヨハネの黙示録第13章1-8節で、彼は獣の人に肉体化しています。彼は最初の反キリストです。ただニコライティアと呼ばれる教えです。それから彼はそこから偽預言者になります。

彼が反キリストであるならば、反キリストは「対抗です」。御言葉は神ですから、御言葉は神に反対です。「初めに言があり、言は神と共にあり、言は肉とされ(キリスト)、私たちの間に住まわれた」。そして今、彼はみ

ことばに反対しているので、彼は反キリストとなります。しかし、精神は戴冠することはできません。それが、彼が冠を受け取らなかった理由です、矢のない弓だけです。

66 そしてそれから彼が戴冠する時になってそれから彼は彼の反キリストの教えの誤った預言者になる。それを得る？それから彼は彼の力を団結させるので彼は彼の剣を得ます。それから彼は誰にも尋ねる必要はありません。彼は教皇です。彼は天国の知事です。三重冠を受け取ると、自分自身が「煉獄」と呼ばれる典型になります。その中の何人かがそこで死んで、彼らはいくらかのお金を得てそれらを払い戻したいのなら、彼はそれをする力を持っています。彼は牧師です。確かに彼はそうです。彼は地上の神の代わりをします。

それが何よりも明白でないならば、我々がそれを見つけるならば、彼の数字と他のすべてを聖書で数えてそれを通して引き下ろして下さい。これが彼です。ここで彼を4番(3番ではなく)4番に戻さない。

67 さて....黙示録12章を開きましょう。これをもう少し読んでみましょう。黙示録第12章と第13節を読みましょう。

そして同じ時間に大地震がありました(ブランナム兄弟の聖書箇所の違い[翻訳者])

いいえ、私は間違った場所を指しました。

第13節 **龍は、自分が地上に投げ落とされたと知ると、男子を産んだ女を追いかけた。**(黙示録第12章13節[翻訳者])

68 さああなたが見たように、彼は地球から追い出されて肉体化します。

反キリストの霊が人間へと転生するにつれて、その人はあるものから別のものへ、つまり反キリストの霊から偽の預言者へと変化し、それから教会の成長と全く同じように獣が彼の中に入ります。

まさに本当に教会が成長するように。彼の教会は反キリストから偽預言者に行きました。そして、昇ることになる獣が来るという大きな時代に...それで教会は正当化、聖化、そしてキリストが人の中におられるのと同じように聖霊のバプテスマを通して、同じようにやって来ます。そして彼はあそこにその反対の性質を持っています、その性質を見てください、むしろそこに彼はまさにそうです。それは彼です、天から追い出されました。

69 さて、私たちは黙示録第13章1-8節で見つけます、

私はまた、一匹の獣が海から上がってくるのを見た。[今ここに彼は追い出された12章です。

さて、見て下さい。

],それには角が十本、頭が7つあり、それらの角には十の冠があつて、頭には神を汚す名がついていた。

私の見たこの獣はひょうに似ており、その足は...

ああ、今時間があるのなら、私たちはその象徴の上に夜の残りの部分を持って行って、そして彼にまっすぐに直接それを持ってくるのを見せるだろう。

誰もが...他のレッスンからの熊の足のようなもの、そして彼の口の中が獅子の口のようなものであったことをあなたはほとんどの人が知っています。

[肉体を持つサタンを内臓させなさい。

] その頭の1つが、死ぬほどの傷を受けたが、

70 そして、やがて、それは先を行います。あなたが読む機会を得たとき。

いや、ほんの少しだけ読んでみましょう。その頭の1つが、死ぬほどの傷を受けたが、その致命的な傷もなおってしまった。

そこで全地の人々は驚きおそれて、あなたはただ見ます。共産主義を決して見ないでください。明日の夜になるので、いつかあなたが血を復讐するのを手助けするのは、神の手の中で遊ぶ道具に他なりません。

また龍がその権威を獣に与えたので、サタン。その通り？赤い龍。それは獣に力を与えた。

[彼が力を得るところ、見てください]

人々は龍を拝み、さらに、その獣を拝んでいった。「だれが、この獣に匹敵し得ようか。だれが、これと闘うことができようか」。この獣には、また、大言を吐き汚しごとを語る口が与えられ、四十二か月のあいだ活動する権威が与えられた。

そこで彼は口を開いて神を汚し、神の御名と、その幕屋、それがバチカン市国ローマの場所となるようにしました。

すなわち、天に住む者たちとを汚した。

71 そして彼は、聖徒に戦いを挑んでこれに勝つことを許され、さらに、すべての部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

異教徒のローマが異教のローマに改宗するまで、ローマではそのようにはなりませんでした。

力は世界を広げ、そして普遍的なカトリック教会を作りました。

そして、地球上に住むすべての人は彼に礼拝しなければなりません、その名前は書物に書かれませんでした。

[「私の油とワインに触るな。」]

地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、その名を世の初めから記されていないものはみな、この獣を拝むであろう。

地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、その名を世の初めからしるされていない者はみな、この獣を拝むであろう。

耳のある者は、聞くがよい。とりこになるべき者は、とりこになっていく。つるぎで殺す者は、自らもつるぎで殺されねばならない。ここに、聖徒たちの忍耐と信仰とがある。

(ヨハネの黙示録 13:8-10 口語訳[翻訳者])

72 さて、私たちは彼に殺害のために彼の大きな剣を持って昨夜来てもらいました。私たちは彼が刀、つまり御言葉の刀で殺されることを知りました。神の御言葉に鋭い両刃の刀が彼を殺し、彼を真下に置きます。彼らが七つの雷鳴りでその組織に声を出して、本当に神の御言葉を取り、そこに手渡すことができるようになるまで待ってください！スライスして切ります。彼らは天を閉じることができます。彼らはこれを止めることができ、あるいはそれを行うことができます。

それは両刃の刀より鋭いです。彼らが望むなら、彼らは1000億トンのハエを要求することができました。アーメン！それは神の口から来る神の御言葉だからです。アーメン

神はいつも…それは彼の御言葉ですが、彼はいつもそれを働かせるために人を使っています。神は彼らをエジプトのあちらこちらに飛ばしたと言うこともできたが、彼は言いました、「モーセ、それがあなたの仕事です。ただあなたに何をするべきか教えてください、そしてあなたはそれをやります。」彼は完全にそれを行いました、そうです。彼はそれらを呼ぶために太陽を選んだかもしれませんが。彼は月がそれを呼ぶように、または風がそれを呼ぶようにさせたかもしれませんが。しかし、彼は言いました、彼は人を選ぶ「モーセ」その通り。

73 さて、私たちはここで、このサタンが天から追い出された後、獣の中に姿を現し、今や彼は獣であることを見いだします。反キリスト、偽預言者、そして獣と死の名を与えられて、地獄で彼は完全にサタンに従う地獄で彼は完全にサタンの代表者です。ああ、なんということ！地上で…彼の、地球上のサタンの代表。彼は今、世界の王国の首長であり、マタイの福音書4章で主イエスに申し出た王国と全く同じ王国であります。サタンは今や完全な王になります。

さて、これは後に起こります。今では偽の預言者です。彼はユダヤ人とそこで契約を破るとしばらくして獣になるでしょう。あなたがご存じのように、彼らがどのように…その通り。

74 注意して下さい、教会が上がると、サタンは追い出されているので、サタンは自分自身を受肉させるで

しょう。それからそうなるでしょう。彼の非難はすべて終わりました、そうです。

さて、傍観者がまだ王座にいる限り、サタンはそこに立って訴えることができます。彼は反対側の弁護士です。彼はキリストの反対者です。そしてキリストは…彼はそこに立っています…相手はそこに立っていると言って、「でも、アダムは倒れた。アダムはこれをやりました。私は彼を征服しました。私は彼の妻に嘘を信じるようにさせ、そして、あなたは彼女がそれに気を取られるだろうと言いました。私はそれを手に入れました。

しかし、最も罪深い人の心を奪うことができ、それを変えることができる血でそこに立っている仲介者の贖い主(アーメン)があります。そう、サタン卿は言いました、「彼らは有罪だ」と彼らは言いました。彼は「彼らは違う。」と言えます。

75 彼らは汚れを取るために漂白剤が発明されたか製造されたとは考えていない。それはガスに戻り、宇宙の光や過去の分子、そしてそれが由来する元の場所に戻るまでのすべてのものに戻っていきます。創造は創造主からもたらされなければなりませんでしたが、製造されまとめられたすべての化学物質は解散しているので、それだけで十分です。それ。まさにその水の物質でさえ、それは漂白剤と混ざり合っています。神への栄光、それはすべて清潔です。

それがイエス・キリストの血が神の真の子供にすることです。「もう覚えていることもできないし、絶対に私の息子だ」と神が言われるまで、それはとても素晴らしいことです。「確かに、私はあなたがこの山に動かされると言って、あなたの心を疑うのではなく、あなたが言ったことを信じて、それが過ぎ去るようになるなら、あなたが言ったことを持つことができます。あなたは贖われた息子です。アーメン!私はそれが真実であることを知っています。

76 私はリスが6つの異なる時間に目の前に現れるのを見たことを知っています。または何か他のもの。彼は神、創造主です。右!そしてその時…致命的な存在ではない…しかしその罪のあの罪が告白されてイエス・キリストの漂白剤のそのクロロックスに落とされたとき、それはすべての罪を漂白するが彼は罪を犯すことができないので、罪を犯さないでください。

漂白剤は彼と神の間に立っています。

それが解体してそれを倒錯者に送り返したとき、どうやってそこにたどり着くことができるでしょう。アーメン!さて、私は宗教的な気がします。私はあなたに言います、これが明らかにし始めるので私は今刺激を受けます。

77 注意してください、完全に彼の王座にサタン、はい、先生。それを神に捧げ、主に捧げました。ここで彼はこの獣のような心でここに座っています。さて、ここに人、獣、化身の悪魔がいます。彼は偽りここに地上に現れます。ああ、なんということ!本当の御言葉のふりをして、彼は自分の言葉と同じようにしました。

彼は自分の性質と同じことをしました。それは2千年前のユダでした。彼が何をした?ユダは信者としてやって来て、初めから悪魔でした。彼は姦淫の息子として生まれました。イエス様は最初から知っていたので彼は何も引きませんでした(アーメン)。

78 では、そして忘れないでください、ユダは会計係としてその地を取り、お金で倒れました。今日の教会もそうです。カトリック教会(私達が気づいたように、昨夜)は彼らをノベナのために請求し、祈りのために彼らを請求し、そしてすべてのもののためにそれらを請求しました。それはプロテスタントであるカトリック教会の娘たちとほとんど同じことでした。全部がお金に包まれています。ユダが落ちたところ、そしてここに彼が落ちたところ。そしてプロテスタントが落ちるところにあります。彼は今彼のラストにいます。

見て下さい…彼が乗って姿を現す青白い馬、これに最後乗ります。彼は今彼の終わりでもあります。今、これは私たちの日にはありません。それは続くでしょう。これは予告されたものです。なぜなら、これが起こった時に教会は終わったからです。

79 キリストがこの地上にここに現われると…この仲間が現われ、完全に、完全に悪魔の反キリストを偽りの預言者、そして獣 - 悪魔自身の中へ…そして彼はすべての色を混ぜた淡い馬に乗って彼を青白くして死に至らしめています。

しかし私たちの主この地上に現れた時、彼は雪におよぶに真っ白な馬に乗ってきて、真っ白な馬に乗って、彼は完全に、完全に、エマニュエル- 神のことは人の中に生まれます。そうです、なるほど、違いはそこ

にあります。それはその違いです。

80 注意してください、反キリストは青白い馬の上に混色しています。馬は力を表す獣です。彼の力はすべて混乱している。どうして？それは政治であり、国の力であり、宗教の力であり、悪魔の力であり、それはあらゆる種類の力を混ぜ合わせた、混ざった薄い馬だった。彼はあらゆる種類の力を持っています

しかしイエスが来るとき、それは一つの色のついた馬、つまり御言葉の上にあります。アーメン！これは赤、白、黒の色を混ぜたものです。3色1色で、1色で表されます。そして三つの力が一つに表される- 白い馬、黒い馬、赤い馬。そして一つの中に三つの冠、見なさい。

81 私は王冠を自分で見ました。その近くに立ってそれを見ました。ガラスのせいで彼らは私にそれを手に入れさせたくなかったのでしょうか。それで、それに、その上の大きな錠、ケースの中に座って、三重の冠がありました。だからそれが真実だということを知っています。それで彼はそこにいました、三重の冠。天国、煉獄、そして地球の戦士。3つの力が団結した、見てください、すべてが淡い色で混ざっている。死はすべてのことを語りました。政治的、宗教的、そして悪魔の力が混在していました。政治- 彼は政治の王、サタンはそうです。賢い。ひゃー！確かに、彼を裏切ろうとしないで下さい。ただ主を信頼してください。

先にそれを経験したように、すべての賢い、教育、そしてそのようなことは間違った側から来る。ただ聖書を通してそれに従ってください、そうであるかどうか調べてください。カインの子供たちをフォローして、彼らが何になるかを見てください。それからセスの子供たちを追って、彼らが何であるかを見てください。

82 無知を支持しているのではありません。全くそうではありません。そうではありません。しかし、あなたはほとんど、めったに聖書の人を連れて行きません。賢い人であるポールという名前の人がいます、そして彼は彼がキリストを知るために彼が知っていたすべてを忘れなければならなかったと言いました。彼は言いました、「人の知恵の魅力的な言葉であなたのところに来ることは決してありませんが、キリストの復活の力の中であなたのところに来ます。」そうです。それが聖霊の正しい力です。他を見てください。彼らの中には、左手から右手を知ることをさえしなかった。

預言者そして彼らが来た時代を通して見下ろしてください。私の言っていることがわかりますか？それは賢い知的、そして知恵です。知恵はまさしくあなたを神から引き離すものです。

83 彼は三つの権力あるいは三つの管轄権を持っていました：地球、天国、そして煉獄。彼は自分自身三位一体です。それが彼を構成しているものであり、そして彼は三位一体に乗ります。彼の力は三位一体、彼の王冠は三位一体、彼の馬は三位一体です。

それは彼が何であるか？- 三位一体、三位一体の力、三位一体の冠、三位一体の乗馬（それはオフィスです）- 再び4つ、見てください。または4人。

はい。彼のミニストリーの3つの段階は彼に彼のミニストリーの3つの段階を彼の1人 - サタンの化身にします：反キリストの偽預言者、そして獣 - それらの3つの様式。見てください、さあ3つの様式があります。さて、神は水、血、霊で、自分自身もまた知られるのです。そしてこれらの3つの力は彼を悪魔にします。おお、これは水、血、そして霊です。それは神のものです。そしてそれは何ですか？政治、宗教、そして悪魔の力が混ざり合っ、彼は悪魔キリストの最初の到来、死に至る者となります。

キリストの最初の到来は死ぬべき運命でした。彼は三回来ます。キリストは三つのうちにいます。彼はどのようにやって来るのか見て- 彼は4種類です。

84 キリストを見てください。最初に来て、彼は出血して死ぬために死に至ります。その通りですか？それが彼の初来です。2度目に来るのは携挙です。

私達は空に不滅の彼に会います。彼の3度目の再臨彼は化身の神です。アーメン！エマニュエル神は地上で治世します。そうです、たった3回。

4回の騎士の舞台の権利だけです…みてください。この騎士の第4舞台は死と呼ばれます。死は神からの永遠の分離を意味します。それは死が神から離れて永遠になることを意味するものです。さて、この仲間を外に出すと、その仲間がだれであるかを聖書に示されているなら…。そして、丘、場所、そして至るところで正確に詳細なものを取り出しました。そして今、彼はワシによって「死」と呼ばれています。これは彼が彼を呼んでいるものです。

85 ここで覚えておいてください、…死は永遠の別れです。覚えておいて、聖人は死なない。彼らは眠り、死ぬわけではありません。「**わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである**(ヨハネによる福音書5章24節[翻訳者]) [その通り。死から命に渡されて、さばきに入ってはならない。]**わたしはよみがえりであり、命である。**(ヨハネによる福音書第11章25節[翻訳者])イエスは言いました。「**たとい死んでも生きる。また生きていて、私を信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれをしんじるか**」(ヨハネによる福音書第11章25-26節)ラザロは死にましたか?「彼は寝ています。」「恐れるな、少女は死んだのではなく、眠りにつく」彼らは主を笑った。その通りですかあ、なんということ!聖人は死なないでください。

神からの分離は死、永遠の死であり、この仲間は死と呼ばれます。だから彼からはなれなさい!

86 彼は何ですか?組織システム、最初の組織された第1の教会。そして、彼がニケア評議会でコンスタンティヌスを理解した時、私たちは昨夜、女性たちを連れてきて、夫の前の最初の花嫁であるエバがエデンの神の御言葉を信じなかったことで倒れました。霊的な花嫁-それはペンテコステの日-キリストの日に生まれました、彼が彼女に着くことができる前に、何が起こりましたか?彼女はローマ(見てください)に転落し、教義のための言葉で彼女の美德を失いました。アーメン!

ああ、なんということ!そう思うとまた刺激が来るのを感じます。私は熱狂して行動するつもりはありません。私はそれを意味しません、しかし私はただ…あなたはそれが私に何をするのか理解していません。これで4日間座っています。私は再び人間的な気分にするために何かを言わなければなりません。私の言っていることが分かりますよね。はい。

すべての権利そのように話し始めれば、あなたは至る所でビジョンが壊れているのを見ます。そのとおり。多分それは私が再び自分自身を取り戻すために何かを言う理由であります、もう一度見てください。

87 私が目の肥えた線を持っているとき、あなたは私に気付いたことがありますか?人を笑わせるようなことを言うでしょう。それから人々が泣くようになる何かを言うでしょう。それから彼らを怒らせる何かを言うでしょう。何かが発見されました、そしてそれがどのようにかかるかを見るために何かを言うでしょう。それから、どんな種類の光がそれらを覆っているのか、何が起きているのか、そしてそれがどこにあるのか、そしてそれが電話しているのかいないのかがわかります。それがそこに座っていないなら…本物の信者、大丈夫です。それから彼らを呼んで、「あなた、だれーだれさん。」

そして、誓いが降りると、聖霊は油を注ぎ始め、そしてその閃光があちこちに、部屋のまわりに、まわりにやってくるのを見始めます。それが私が何かを言う理由で、再び始めて、もう一度始めて下さい、そうです。先週の日曜日からずっと、祈っているだけで、それがすべて、油注ぎの下にありましたが、私はこれが正しいことを知っています。もしあなたが神を信じるなら(あなたがすることはわかっています)、あなたはちょうどその週末にみえますね。

88 今、死は神からの永遠の分離を意味する。あなたは今覚えている、聖人は死にません。覚えておいてください、彼の花嫁は私が言っているのと同じ青白い馬を与えられました…私が言いたいのは、つまりこの騎士には一緒に出掛けるための青白い馬を与え、一緒に出掛けるために子に白い馬を与えられました。そして彼は死のこの青白い馬に乗りました。さて、私たちはそれが何であるかを知っています。私たちは何の教会だったか知っています。そして、忘れないでください…昨夜、彼女は売春婦であるだけでなく、彼女は売春婦の母親でした。そして、私たちは彼女を売春婦にしたのは…その種の女性である女性…それは混在する観客の中で言うのは平凡な言葉ですが、聖書はそれを言っています、見てください。それで、私たちはそれが彼女の結婚の誓いに誠実でない女性であることを理解しています。そして、あなたは、彼女がいるべきである(自分自身を言う)、自分自身を天の女王と呼びます。それが神の花嫁です。神はキリストです。そして彼女が姦淫を犯しているのがわかります。

そして彼女は地球の王たちに姦淫をさせています。そして、すべての裕福な人、偉大な人、全地球が彼女の後を追って行きました。わかりますか。そしてそれから私たちは彼女が何人かの娘を生み出し、彼女らは売春婦たちであったことを知っています。

89 売春婦ではなく売春婦たちとは何でしょう?同じこと。姦淫者、姦淫、悪、姦淫、犯し…彼らは何をしたのですか?組織化された、システムを手に入れた、人工のシステム、ペンテコステと全体の束を教えました。

今、あなたの良心があなたのポケットの中に落ちないようにしなさい、ペンテコステ。私はあなたに何か話しましょう。顔を直視しましょう。

パンチを引くにはもう遅すぎます。

こちらをご覧ください。

私達はラオデキア教会時代に住んでいます、そしてそれは彼ら全員の中で最もばかげた教会時代でした。ぬくもりがあり、キリストが外に出ようとしていた唯一の人でした。そしてそれがペンテコステ派のメッセージです。「私は金持ちです。」少年よ、あなたはまず貧乏だった。さああなたは本当に金持ちになった、そうです。「…何も必要としない」そして、ああ、あなたでした。

あなたは彼が言ったことを言った、「あなたは裸で、惨めで、盲目で、貧しく、惨めで、それを知ることさえしていません。」

さてもし彼が道で裸で出てそれを知っているなら、なぜ、彼自身を助けようと試すでしょう。しかし、彼がそれを知らないと、あなたは彼に何の差もないと言うことができないとき、彼は悪い形になっています、神は彼に憐れみを持っています。はい。

90 注意してください。ああ、なんということ!さあ、思い出してください、この反キリスト(彼自身、男であること)、彼の花嫁(それは彼の教会です)は悔い改めるための時間を与えられました、そして彼女はその教会時代にそれをしませんでした、テアテラ。覚えていますか?

少しだけ戻ってみましょう。少しだけ戻っても害はありません。ちょっと待って、第2章に戻りましょう。テアテラ、今すぐこれを今すぐ見てください。私たちはもうすぐ時間を過ぎて、まだ始めていません。

91 注意して下さい、テアテラ。今、それは天使のための第2章の18節から始まります。

テアテラにある教会の御使に[それはメッセンジャーです。]、書きおくりなさい。燃える炎のような目と光り輝くしんちゅうのような足とを持った神の子が、次のように言われる。わたしは、あなたのわざと、あなたの井愛と信仰と奉仕と忍耐とを知っている。また、あなたの後のわざが、初めのよりもまさっていることを知っている。しかし、あなたに対して責むべきことがある。あなたは、あのイゼベルという女を、そのなすがままにさせている。(黙示録第2章18-20節途中まで[翻訳者])

92 [偽の預言者の妻、それは神の正真正銘の預言者、教皇であると思われる。]

そうです、真の預言者とその妻イゼベル。さて、アハブは本物のユダヤ人であることになっていました、しかし彼の妻は彼がとにかく、彼を望んだだけで彼を導いたので、彼は人種差別的でした(あなたがご存じのように)私たちは、イゼベルが自分のお金を取り、これらも自分たちが預言者であることを望み、私の僕を教え、誘惑するのを望んでいるように導いているのを見つけます。

この女は女預言者と自称し、[わかりました?]**わたしの僕たちを教え、惑わして、**[見て下さい、そのイゼベルの教えは国をいっそうしただけでした。]**不品行をさせ、偶像にささげたものを食べさせている。**

わたしは、この女に悔い改めるおりとを与えたが、悔い改めてその不品行をやめようとしない。[次の節を見てください。]

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ入れる。[そしてそれは地獄]この女と姦淫する者をも、大きな患難の中に投げ入れる。[それは大艱難に突入します。今は教会ではありません。]**悔い改めて彼女のわざから離れなければ、**[さて、ここに気をつけてください。]

また私はこの女の子供たち(彼女の売春婦)をも打ち殺そう。

霊的死- あなたはそれを信じますか?それが御言葉です。「私は彼らを死を以って殺します。」そして、彼らが殺されれば、彼らは永遠に分離されます。

93 さあ、彼は彼女に悔い改めるための時間を与えました。テアテラ時代は暗黒時代でした。暗黒の馬の騎士は、すべての大衆とすべてのものの代金を払わなければならなかった時代、そして祈りとノバナなどに乗りました。さて、それでは、彼の黒い馬?彼がテアテラで悔い改めるのを拒んだ後(見てください!）、彼の最後の宣教活動のために、彼の乗馬を黒い馬から青白い馬へと変えるのです。

94 今、私はここで個人を少し振るだけでよい。神を拒むこと、神の呼びかけを拒むこと…お前はそれを終わりにやる。そしてその教会がしたように、それは終わりました。神の忍耐力は、常に人間と努力するわけで

はありません、見てください。そして彼女がそれを拒んでそれを受け入れることを拒んだとき、彼女は変わった、そして今度は彼女が死と呼ばれる名前を付けられる、分離。

神は言いました、「私は彼女の子供たちでさえ[プロテスタント信徒]、そしてそれらの周りの全員を私は永遠の分離をもって殺すでしょう。「あなたはそこにいます。」テアテラ時代-暗黒時代。今では黒い馬が彼の最後の聖職者のために死に絶えます。

見てください、教会の時代がどのように封印と溶け合っているのでしょうか?まさに完璧です。それから私たちはそれが正しいことを知ります。聖霊は失敗することはありません。私たちが教会時代を終えた時、彼は私たちに大きな叙述を与えました、ご存じのように。

あなたは神の愛に満ちた、長い苦しみを見ますか?彼が彼女に裁きを下す前に、彼は彼女に悔い改めの時間を与えました!主の名において、私はこう言います:彼はプロテスタントの教会に同じことを与えます、そして、彼女はそれをしません!これらのメッセージは至る所で震えました、そして彼女はそれをしません!彼女は彼女自身の教義と信条を持ちます。私があなたにそれをどれほど説明したかは気にしていません。

95 先日シカゴで述べたように、人々が座っているよりも多くの聖職者達の前に…そしてここで彼らは私にサーパントの子孫の教義について、そして他のすべてのことについて私に断言させました。そして私は言いました、「誰かがあなたの聖書を手に入れて、ここに来て私のそばに立ちなさい」。だれも何も言いませんでした。

トミー・ヒックスが言いました「私はこれまでにそのようなことを聞いたことがない、ブランナム兄弟。私はそれらのテープを300枚欲しい。

聖職者に全部送りたい」と言いました。

約50人から75人くらいは言いました「私は再洗礼するために下ってきました。」彼らは来たのですか?そのうちの一人ではありませんでした。なぜですか?彼は彼らに悔い改めるための時間を与えました。彼は子供たちを死、霊的な死へと導きます。明日の夜に迎えに行き、主は喜んで、もしくは土曜日の夜は過ぎ去った疫病です。そこで起こることを見てください。

96 彼がエジプトを与えるように、エジプトを悔い改める場所を与える。最後の疫病は何でしたか?それは死でした。ペンテコステを最後の疫病が襲います。それは霊的な死です。彼女は死んでます!はそれは主の御名において。彼女は霊的に死にました。悔い改めるために彼女の場所を与え、そして彼女はそれを拒絶しました。さて彼女は死にました。彼女は決して起きません!

そしてそこにいる人々は、エписコピア人や祭司などを連れて行こうとしていて、彼らを「聖なる父」と呼んでいます、そして、なぜ、彼らは自分自身を恥ずかしいと思うべきです。男性はどのくらい盲目になることができますか?その眠っている処女が油を買うようになったとき、イエスは言わないでください、彼女はそれを手に入れませんでしたか?

97 みなさん…あなた方は「聖霊を授かりました。私は異言で話しました」と人々が言うのを聞いていますね。しかし、彼らはこのような教会に行きたくないのです。「ああ、あなたは知っている、私は信じないしそのような場所を歩きたくないとは思わない」それなら、あなたは聖霊を持っていると言いますか?しかし、あなたはあなたの威厳のあるやり方を望んでいます。あなたはバビロンにとどまり、それでも天の祝福を楽しみたいのです。

あなたはあなたの選択をしなればなりません。あなたは世界のそこを出られず、同時に神に仕えることはできません。イエスは、あなたは神と富に仕えることは出来ないと言われました。ですから、あなたが期待したいのであれば…本当に救われるなら、あなたは聖霊が自らを告白し、神の御言葉がそうであることを示している集会を楽しむでしょう。

98 誰かが言いました。人々はあまりにも大きな音を立てます。それは緊張させます。」あなたが天国に到着するならばあなたは緊張するでしょう。あなたはただそれらのすべてがそこにいる時を考えなさい!それでそれはどうですか?

ああ、なんということ、主がノアの時代にいたように、主がどのようにしたいと望んでおられるのでしょうか。彼は頑張りました。彼は彼らを悔い改めさせるために120年もの長い間苦しみました、そして、彼らはそれをしませんでした。

エジプトの時代に、彼はペストと他のすべてを送りました。彼らはそれをしようとしなかったです。彼はヨハネを送りました。彼らは戻ってこないでしょう。イエス様に、御言葉を聞く組織全体を救うため、死なせるために遣わしました。

99 そして、今終わりの時に彼はそれを呼び出すためのメッセージを送り、元の信仰に戻し、御言葉に戻すと再び約束しました。そして彼らはそれを受け取らないでしょう。彼らはその教義と信条の中でそうしないまでもとても教義的です…ああ彼らが持っていると思う…御使いが降りて来た場合…しかし、神はそれをしないで下さい。彼は無知で愚かなこと、あなたのABCやその他何も知らない無知で愚かなものを取ります。それから彼はその種の人を取ります、なぜなら彼は何も無いものを取ってそれからそれを通して働くことができるからです。何かが彼らが何かであると考える限り、彼らはそれについて何もすることが出来ません。彼はいつもそうしています。あなたは神と一緒に誰かになるために何もなる必要はありません。

100 ああ、なんということ！気がついて下さい。

それでも、彼は悔い改めるための空間を彼女に与えました、しかし彼女はそれをしませんでした。彼はまたやりました、彼女はやりません。彼女の拒絶は、サタンが彼女の中にやって来て、転生するのに最適な方法となります。そしてそれは、プロテスタントの教会が娼婦となるのと全く同じことです。なぜなら、彼女は神の御言葉の真実を暗示し、悪魔に自分の身を包み込み、転生させる場所を与えるからです。そして彼は彼らが一緒に団結しているところの獣にイメージを作り、今すぐに説明し、そして彼が言ったことを正確に続けていくでしょう。そのとおり。アーメン！

私が教育を受けていたなら、私はそれを引き出すことができました。私は教育を受けていません。聖霊があなたにそれを明らかにすることを期待しているだけです。彼はそのような人たちに意志を…そうです。彼はそれをやります。

101 気が着いて下さい。見てください…彼女がここで何をしたか。彼女は悔い改めるという神のメッセージを拒みました。彼女は反キリストを始め、それこそが彼女です。彼女は偽りの預言者、化身の悪魔になり、そして彼女がしたとき、彼女の偽りの教えで…それから、そのすべてにおいて、神は悔い改めのために自分の時間を与えられ、彼女を連れて行こうとしました。どのくらい苦しみを見ますか？なんて素晴らしい愛でしょう。そのような愛はありません。彼の顔と物に唾を吐くものさえ見てください。彼はそれらを許しました。それは神です、見てください。

神のメッセージを拒否しないでください。見て、彼女は悔い改めるよう求められました。そして彼女が落ちたところに戻って下さい。そして彼女はどこから落ちたのですか？御言葉。エバはどこから来たのですか？宗派はどこから来たのでしょうか。あなたはそこにいます。他の方法はありません- ちょうど毎回まさに御言葉に戻ってきます、そうです。そして彼らは彼らを御言葉から遠ざけ、御言葉からではなく御言葉からそれらを実行する組織に入ります。

注意して下さい。見て下さい、彼女は悔い改めるための時間を与えられた、戻って下さい。「悔い改める」とは、戻る、引き返す、顔を悔い改めることについて、戻るという意味です。そして彼女はその場所に戻るための時間を与えられました。

102 さて、覚えておいてください。彼女は元の五旬節に注がれた元のペンテコステ教会でした。何人の聖書の学生がそれを知っていますか？もちろん、彼女はそうでした。見て下さい、彼女がどこから来たのか？彼女は御言葉から脱落し、教義を受け入れました。彼女は聖霊の代わりに聖人を望んでいました：ドクター、LL、博士、QU。それで、彼を教皇にしました、そうです。確かに、しかし、それは彼女が望んだものです- 誰かが彼女の祈りをし、誰かが彼女がまさに彼女のお金を支払うことができました、そうです。

さて、今日でも同じことです。彼らが座るために信徒席を得た限り、コレクションプレートに重いお金を払って下さい、それは十分に良いです。彼らはその教会の一員です。それについて他に何も言わないでください。彼らは知りたくありません。それが彼女の娘です。

さて、彼女はどこから転落しましたか？使徒の使徒と預言者の元の言葉から。それは彼女が落ちたところです。それがプロテスタントが落ちたところです。

悔い改めなさい。戻りなさい。手遅れでない場合は、手遅れになる前に引き返します。小羊が彼の場所を離れるというそれらの日のうちの1つ、それからそれはすべて終わりました。それで、今彼女の娘たちは、彼女と判断される前に、戻ってくるように頼まれました。

103 さて、彼らが得た最後のメッセージは私が語っていた預言者についていました多くの本を読んでいました。そして、私は、本当の、良い、賢明な、霊的な思考の男性が来ることを知っています- それが来ることを知っています。しかし、その問題点は、彼らは「我々はそれを必要としている。それはそうなるだろう」と言い続けることです。そしてそれが来るとき、それは彼らが他の時をしたように彼らがおそらくそれを見逃すことになるのでとても謙虚になるでしょう。人々はそれについて、そしてすべてについて書き、「ああ、そうです。そうする必要があります」と言うでしょう。それから彼らのすぐ前にそれが示されるようにしてください、そして彼らはただすぐに行く、そうです。彼らはいつもそれをやってきました。

104 さて、見てください。

元の言葉、彼女はそこに戻るために悔い改めなければなりません。それで、彼女の娘は頼まれました…強制されるように…彼らは同じベッドに裁かれて投げられて、彼女と一緒に殺されます。彼らは、元の御言葉に戻り、使徒教義に戻るよう求められました。しかし、彼らの信条と物事にとても縛られていて、それをしません。

彼らは私をからかっているだけです。それから彼らは何をしますか？彼らはついに獣への像、もう一つの力(注意して下さい)を作り、彼女が黙示録第13章と第14章で行ったのと同じように小羊の花嫁に行動します。教会は、ローマが今までにしたのと同じくらい正確にキリストの真の花嫁を楽しませます、正にその通りに。そして、黙示録13と14で行ったのとまったく同じように、実際の小羊の花嫁に行動します。

さて注意して下さい。私たちは、神の約束の御言葉によって、彼の子供たち、宗派、娘たちを霊的な死と共に殺してしまうのです。さて、それが黙示録第2章22節です。忘れないでください。殺すことは死に至ることであり、そして死は神の臨在からの永遠の分離です。それを考えてください、友よ。考えてみてください！あなたはどんな人工的な信条を信頼しませんか。御言葉に反するものは何でも、あなたはそれから遠ざけているのです。

105 それでは、見て下さい。ここで聖書を見て下さい。それは彼の名前が地獄だと言いました…私は彼の名前が死だったことを意味し、そして地獄は彼のあとにつきました。さて、地獄は自然の中で常に死に続きます。自然に人が死ぬとき、地獄は彼に従います。それが墓と死者の国、そうです。それは自然です。しかし精神的には、それは火の湖です、そうです。大丈夫。それは永遠の別れであり、燃やされています。そしてマラキ書第4章は、それが刈り株や枝、あるいは他に何も残さないとさえ言いました。それは世界が至福千年に再び自分自身を浄化する方法です、そうです。

106 気付いたことはありますか。騎士は「彼」ですか？そして「彼」は彼の手を持っていた…男、偽預言者。しかし彼女の花嫁は教会と呼ばれています。「彼女」、イゼベル。アハブ、イゼベル。それは何よりも完璧です、そうです。娘たちもまた「彼女」ですが、1人の人間としての指導的地位を受けることはありません。それにプロテスタントは、それでも彼らの教義、宗派、組織の原則において売春婦のままです。それはそれが言うことです。

107 気づいてください。これは何のためにやってくるのですか(今、私たちはここでちょうど12分から14分ぐらい持っていると、私は思います。)これがすべて来ているものを見て下さい。それは何ですか？それはまさにその方向に戻ってきています。それは天国で始まりました。それは終わりの時の戦いにやってくる天国で最初の事は戦いでした。ルシファーは追い出されて地球にやってきました。それから彼はエデンを汚染した。それから彼はそれ以来ずっと汚染しています。

そして今、天国での戦いから、それは地球上での戦いに来ています、そしてそれはハルマゲドンと呼ばれる戦いで終わりの時に地球上で終わることです。誰でもそれを知っています。戦いは天国で始まりました。神聖な、彼らは彼らを追い出しました。ミカエルと彼の天使たちは彼らを打ち倒して走り去りました。そして彼らがそうした時、エデンの真下に落ち、そしてここで戦いが始まりました。

108 神は御言葉によって、すべての子供たちを強められました。そしてエバは首を突き出して言いました、「あなたが正しいと信じなさい」と言いました、そしてそれはそこに行きました。そしてそれはずっと続いています。それから神は降りて来ます、そして今、彼はやって来ました。さて、私が言ったように、神は大きな請負業者のようです。彼は自分の材料をすべて地面に広げ、それから自分の建物を建てます。

さて、覚えておいてください、地球に種の穀物がある前、地球に当たった太陽がある前に、あなたの体は地球の上に横たわっていました。あなたは地球のほこりなので、見てください。あなたは神の契約者なのです。

109 さて、彼がやろうとしていた方法はそれに手を伸ばして得ることで、アダムにやったようなものでした。カルシウム、カリ、宇宙の光を少し束ねた。「ひゃー！」言います「私の別の息子がいる」そうです。それから彼はもう少し育てようとしていました「ひゃー！」そしてもう一つそれがあります。

しかしエバは何をしましたか？彼女はそうに腐敗し、そして彼女は性的行為を通してそれをもたらしました。それから死はそれを打ちました！

さて、神は何をしているのでしょうか？彼はそこを通してそれらの種はあらかじめ決められているたくさんの種を持っています、非常に多くのあらかじめ定められたもの。そして終わりの時には、「エバ、もう一人の子供を産みなさい」とは言いません。彼は、「やれやれ」と電話して答えるでしょう、それ考えです。その最後の一人が持ち込まれると、それはそれを解決します。

110 さあ、戦いは天国で始まりました。それはハルマゲドンの形で、地上で完成するでしょう。それでは、見て展開しましょう。たぶんそれを開くことができます。主は今これをするために私たちを助けてくださいます。それが繰り広げられるのを見てください。

神秘的な騎士(彼が今していることを見てください)は反対し、悔い改めて元の血に戻ることを拒みました。御言葉は血と肉になりました。彼はそれに戻ることを拒みました。彼は反キリストです。真の御言葉の花嫁…真の御言葉の花嫁とは反対です。彼は自分の花嫁を連れて行き(彼はこの本当の花嫁に反対します)、そして自分の花嫁を連れて行き、信条と教義と呼ばれる宗教の形で彼女を連れて行きます、そうです。

そして今、聖なる花嫁を見て、彼は彼女に反対します。しかし彼は自分の花嫁と呼ばれる反キリストによる反キリストの教えを形成します。これはキリストに反しています。彼がどれほど恥ずかしがり屋なのか見て下さい？そして今、血の下で崇拝を支配する愛の団結を持つ代わりに、彼は宗派を持っています。御言葉を持つ代わりに、彼は信条、教義などを取りました。

111 プロテスタントが使徒信条を言うときのように。聖書の中でその御言葉を見つけてほしいのです。「もちろん、使徒信条は聖書の中にはありません」。私がここで言ったようにそれほど前ではない、どこかで、使徒たちが信条を持っていたのなら、それは使徒行伝第2章38節でした。それは彼らがみんなにやるように言ったことです。彼らがクリスチャンであるように見えた彼らのうちの一人を見つけたとき、彼は言った、「あなたが信じてから、あなたは聖霊を受けたことがありますか？」

彼らは「私たちは聖霊がないかどうかわかるの」と言いました。

彼は「そして、どうやって洗礼を受けましたか？」

さて、私たちの主イエス・キリストの名の下に、イエスの名にバプテスマを受ければ大丈夫ですが、それだけではありません。そうではありません！あなた方が50回そのようなことをしても、聖霊によるわずかな良い心の変化もしない。それは全て一緒にならなければ。

112 気付いてください。もしキリストなら…、反キリストは真の花嫁の教義を拒否しているので、彼は今、自分の花嫁を彼の信条のもとに築き上げています。この聖書に引用されているように、彼女は他の宗派を生み出します、娘を産みます。彼女は自分の母親のようにはなりません：彼女は母親のようにはなりません。自然、世俗的、宗派的、霊的な花嫁、言葉に反対する。

彼らは教会に属しているのではないと言っているのではありません。

あなたは宗派の人に話します。

「あなたはクリスチャンですか？」

「私は教会に属しています。」

113 それに関係するものではありません。あなたは属していません…あなたは教会と呼ばれるものに属しているかもしれませんが。教会に属し、教会ではなく、人々が集まって羽毛の鳥のように食事をするロッジですが、あなたはただ1つの教会であり、それはキリストの神秘的な体です。私がいつも言っているように、「私はブランハム家に53年間いて、それに加わったことは一度もありませんでした。私はそれに負けました。」

114 さて、気づいたことですが、それはちょうどエサウとヤコブのように美しくタイプされている(聖書はここに書かれているが、私達はそれに到達する時間がない。)今、エサウは宗教的な人でした。彼は不信者であ

ると主張しませんでした。彼はヤコブがしたのと同じ神、彼の父親がしたのと同じ神を信じました。

しかし、彼はただの怪物(表現を赦して下さい)でした、ただ…彼はただダメでした。彼は…さて、彼は、道徳的である限り彼は本当にヤコブよりも優れた道徳的行動者でした。しかし、あなたは、彼は考えていませんでした…「ああ、あの生年月日はそれにどう関係しているの？」そして彼は自分の生得権をヤコブに売りました、そうです。

しかしヤコブは、彼はエサウのように大きなものを持っていませんでした。彼は彼がしたような遺産を持っていませんでした。しかし、ヤコブが欲しかったことが1つあり、それはその生誕権を手に入れたかった。彼はそれを手に入れました。そして、神は彼を尊重していました。

そしてそれから、それは今日の世俗的な人の肉欲的な心の同じことです。「まあ、私は州教会に属しています」「私はこの教会に属しています」「それに属している」それはそれとは関係がありません。

115 見てみてください。

彼の混色の馬に乗せてそれらを集めました。

彼は政治的権力を持っているので彼の混色の馬でそれらを集めています。彼が信じていないとしたら、この大統領は今どのようにして入ったのですか？どのようにしてこれが滑り落ちましたか。信仰の自由のためにここに来なさい！そして、あなたは自分の生得権を政治に売り払うであろう民主党の群れ！私は持っていません…民主党员…その他の政党は…彼らは両方とも腐っています。私はキリスト教について話しています。しかし、あなたはそのようなものを入れるために民主党の切符であなたの生得権を売ります。あなたは恥を知れ！

116 あなたは、この国がまさにイスラエルのパターンであることに気づいていませんか？イスラエルは何をしましたか？彼女は奇妙な土地にやって来て、居住者を連れ出して殺し、そして土地に入って行きました。それが私たちのしたことです。唯一の真のアメリカ人がいるインディアンは、私たちのインディアンの友人です。それで、彼らは何をしましたか？イスラエルには数人の偉人がいました。あなたが知っている最初のこと…彼らにはダビデがいました、彼らにはソロモンが居ました、彼

らは偉大な人がいました。そしてようやく彼らはアハブの向こう側に不信者であるイゼベルと結婚した反逆者を得ました。

まあ、それは私たちがしたのも同然のことです。ワシントンとリンカーンがありました。しかし、私たちが今持っているものを見てください。そして、その本当の事は、彼は結婚していて、そしてイゼベルに染められて羊毛に染められています。彼はなかなかいい種類の仲間かもしれませんが、彼女はビジネスを営むつもりです。あなたはそれを今まさにわかります- 家族全員が入ってきているのです。

117 35年前に聖霊が私に何を話しましたか、そしてあなた方古い人達全員が

知っています、終わりの時の前に起こる7つの事ですな？

これは終わりにやってくる次の物なのです。他のすべてのものはまさに点の上に、戦争や他のすべてのものに、当たります、そうです。今、彼女は国家を支配する女性の手の中にちょうど入っているのです。イゼベル。しかし、覚えておいてください、イゼベルの時代に、誰かが彼らを集めて彼らの本当の性質を見せたのです。

118 …混色の馬にそれらを集める、そうです。彼は自分のものを、信条、宗派と組み合わせて、人工の教義と一緒にしています。そうですか？確かに、混合色 - 死んだ、世界の青白い馬の混合色。さあ、その通り、青白い死んだ、世俗的な形の混合色です。ああ、なんということ！御言葉の聖なる血ではありません。

そして、地上の四隅から彼らがそれらを集めているのを見てください。それらをハルマゲドンに集めました、と聖書は言います(私は彼らがここに書き留めたのです。私は彼らと呼ばれるのではなく、ただ彼らが何であるかを見えています。)彼らは戦いの素晴らしい日に一緒に集まります。主なる神。見よ！

119 さて、この混色の、世俗的な、青白い、病気の馬に…ただ考えてみてください。あなたはそれが悪いことだということを知っています。さあ、彼がそれらを集める場所を見てください、地球の四隅から。彼らは今、対決のために集まっています。御言葉によると、対決はハルマゲドンで行われるという、そうです。青白い馬の

上で、その上に乗って- 彼の上に死と命名された名前の上に - 反キリスト、(聞いてください。反キリスト、最初の宗派。それは論争できません。) そしてその御言葉の売春婦である彼のイゼベルと共に、娘と一緒に、プロテスタントと一緒に、団結して集まっている…。

先日、バプテストの人々がここで話しているのを聞いたことを知っていますか? 「ああ、私たちは彼らと一緒に参加することはありませんが、私たちは彼らと親切で徒党根性が強くなるでしょう。私たちは教会に参加する必要はありませんが…」あなたはそこにいます、まさにその御言葉が言ったことです、古い売春婦の最初の場所分りますね

。

120 さて、ここで彼らは一緒になって、その対決に来て、ハルマゲドンに来て、そして混じり合った色の馬に乗っている- 白い馬1頭、赤い馬1頭、黒い馬の1頭 - 3つの異なる政治権力は反キリストである悪魔の力によって支配されています。それをすべて混ぜ合わせると、彼が乗っているのは青白い、病弱な感じのものになります。そのとおりさあ、注目してください。彼が乗っているものを見てください。黒、赤、および白と混ぜて、青白い、グリズリー色の馬が戦いの中に入って、天国の下であらゆる国から彼の主題を集めています。

ダニエルは夢を解釈し、その鉄の筋を見ませんでした。ローマのあらゆる王国に走っている? ここで彼らは集まります。さて、ちょっとだけ静止して近くで聴きましょう。彼らはそれをするために今集まって、彼の主題を地球の四隅から持ってきて、青白い、病弱な、三色の混合馬に乗っています、同じ男がです。

121 さて、黙示録第19章では、彼は準備ができていだけではありません。キリストは彼に会う準備をしています。戦いは暑くて重くなるでしょう。キリストは、ヨハネの黙示録第19章で、地球の四隅からではなく、自分のことを集めています。もう少し残骸があるでしょう。彼は何をしているの? 彼は天の四隅からそれらを集めています(彼らは明日の夜に祭壇の下で魂を得るでしょう、そしてあなたはそれが正しいかどうかを見るでしょう)、雪の上の天の、四隅からそれらを集めています、白い馬。彼はまた名ではない死を持っています。しかし、神の御言葉、命。アーメン。それがここに彼の太ももに正しく記され手に入れました: 神の御言葉。神が唯一の永遠の命の源であるので、それが唯一の命です- ゴーイ。そうですね?

122 そして彼は白い馬に乗って命について書きました。

そして、これは3人の異なる力が混ざった男で、死と呼ばれ、彼の地上の代表者たちを集めています。

そして、キリストは彼の天から生まれた主題を集めています。

彼は死を彼に書いてもらった人なのです。キリストの命が彼に書きました。彼を持つ人々はまた白い馬に乗っていて、彼らは「世界の基礎の前に選ばれた人々」と呼ばれ(アーメン!)、彼らは御言葉に忠実です。アーメン! 私はそのような人が「世界の創造の前に選ばれた」と呼ばれ、それから彼らが選んだことによって御言葉に忠実で、すべてが新しいワインと油で刺激され、ちょうど一緒に走って、彼に会いに来ます。彼らは、雷がまもなく物を書くだろうと知っています。

123 見てください、彼はどうしますか? ですから、もし彼が御言葉であり、彼の名前が御言葉であれば、その御言葉は命です。反キリストは何に対しても反対です。だからキリストに敵対し、御言葉に反するのです。ですから、それは御言葉に反対する信条や宗派になるはずなのです。

なぜ、あなたがそれを見逃すことになるかはわかりません。わかりますか? どうしてそれを見逃すことができますか? 私はあなたがどうするつもりかわかりません。それは本当だ。反対です。そうではないですか? そこから離れてください。それが彼だったのです。彼は混乱した馬に乗っていた。私たちはそれを神の御言葉の中に見ています。私達はそれを7つの教会時代でそこに見ました。ここで彼はそれを開封し、教会時代に起こったことを彼らに見せるために封印に戻します。反は御言葉に反対です。なぜ信条が私たちに信仰と宗派に反対であるのかを見てください。分かりますね?

124 ここで私たちは生死が最終闘争に来るのを見ます。真の命の白馬、混ざった信条の青白い馬。あなたは、実はここで何かを言いたいのです。

あなたは信じないかもしれませんが、私は確かにそれについて調べました。元の色は1色しかなく、それは白です。何人がこのことを知ってい? 元の色は1つだけです。他には何でも混在しています。キリストは初めから真っ白で純粋な御言葉の上にあります。アーメン! いくつかの化学物質がそれに侵入しなかったならば、すべての色は白になるでしょう。アーメン! 栄光! すべての教会は、信仰と宗派が混じり合っていなけれ

ば、使徒的な神の御言葉の教義とそれを確認する神の上に立っているでしょう。あなたはそこにいます。ああ、エヴァン兄弟、今は気分がいい!かしこまりました!はい、あなただけの元の色-それは白です。それは宗派や信条と混ざることはありません。いいえ!

ますか?元の色は1つだけです。他の物は皆混在しています。キリストは初めから真っ白で純粋な御言葉の上にあります。アーメン!いくつかの化学物質がそれに侵入しなかったならば、すべての色は白になるでしょう。アーメン!栄光!すべての教会は、信仰と宗派が混じり合っていないければ、使徒的な神の御言葉の教義とそれを確認する神の上に立っているでしょう。あなたはそこにいます。ああ、エヴァン兄弟、今は気分がいいです!かしこまりました!はい、あなただけの元の色-それは白です。それは宗派や信条と混ざることはありません。いいえ!

125 そして、覚えていてください、彼の聖人は、宗派や信条と混ざっているのではなく、白いローブをまとっています。今、私たちは宗派と信条を見つけています、あなたの混色を得るところはここなのです。しかし、これは彼が乗っている元の色です。元の色は彼の人々にあり、そして、彼らはその衣服を清潔にして、そしてそれをまっすぐに送った血に浸されました。その通りです。

126 混ざった人々は青ざめて死にました。色を白と混ぜるのは倒錯です。あなたは元の色を壊してしまいますのです。そうなんですね?元の色(色のみ)が白で、それと何かを混ぜ合わせると、その本当の原因はおかしな物になります。アーメン!そうですね?そして、もし彼が白い馬であり、そして彼が御言葉であるならば、何かをそれと混ぜ合わせるために-どんな種類の信条でも、それに一つの単語を加え、そこから一つの単語を取り除く-それは全体をひっくり返すことです。ああ、なんということ!御言葉で私を保って下さい主よ。

真理と偽り...何てことを!たとえどんなに良いことでも...真りと偽りは混同することはできません。混ぜられないのです。それは「主が仰せられる」か、そうでなければそれは間違っています。神父が何を言ったとしても、聖ボニフェス或いはカンタベリー大司教であれ、誰がそれを言ったのかわかりませんが-それが御言葉に反しているならば、それは倒錯なのです。

127 「どうして、この人がやった…」と言って、私は彼がしたこと、彼がどれほどがやった…」と言って、私は彼がしたこと、彼がどれほど聖いかどうか、あるいはそのようなことを気にしていません。

これは私たちが持っている唯一の直接的な真実です。教会でも信条でも、これがこの範囲外であれば真実はありません。それを手に入れたものを見せてください。教えてほしいです。聖書のページをめくって何かを見せるでしょう。

あなたは「ペンテコステ派。」だといいます。

ああ、なんということ!(誰かからその考えを捉えました。)私は、それをすぐに放っておいたほうがいい、なぜなら私はすぐそこに痛い所を始めたのを見たので。私はあなたを傷つけたくありませんでしたが、私はあなたが何について考えていたのか知っていることを知ってほしいと思いました、そうです。

128 それらを混ぜ合わせたものが元のものとは何かを混ぜると死の色が変わります。しかし、それはすべての種の中で最も小さいですが、何も混ざることはありません。それはキリストが言ったからし種の話のようなものです。からし種は混じりません。彼は本物のからしなので、あなたがそれほど信仰を持っているが変わります。

気が付いて下さい、彼の復活した聖徒たちが彼と一緒に持っていたことによって証明された、命の御言葉は誰でしたか?さて、どのようにして戦いは繰り広げられるでしょうか?イエスは言いました、「私を信じる者は、たとえ死んでも生きる。(ヨハネによる福音書11章25節[翻訳者])」彼は言いました、また生きていて、わたしを信じる者はいつまでも死なない。」(ヨハネによる福音書11章26節[翻訳者])「私を信じる者は永遠の命を得ている…」彼は彼に永遠の命を与え、終わりの日に彼を育てるでしょう。これが彼の約束された聖書です。

129 サタンは、地球の四隅から彼のプロテスタントと、そして彼のカトリック教徒と、そしてすべて一緒にハルマゲドンの戦いまで行進しながら持って来ます。はい。そしてここにイエスが復活した聖徒と共に天から降りてきた、命名された御言葉。私が言ったように、もし神があなたを送るために話すなら、彼はあなたが言うことを支持します。注意して下さい、あなたが天国からの大使であれば、すべての天国はあなたの背後にあります。天国は御言葉から成り立っています。

130 さて気が付いて下さい、さあ彼は復活した聖徒と一緒に来て、自分の御言葉が真実であることを証言しています(だからサタンは知っている、そして底なしの穴が彼のために用意されています、そうです。ああ、なんということだ!)その間、死は青白い馬の信条と宗派に乗って彼を追いかけて(ああ、なんと!)それが彼らを乗せた場所、永遠の分断です。キリストは復活のうちに自分の教会に栄光を与えました。

131 8節に注目してください。閉じていても、8節の最後の部分だけです。「彼らに力が与えられた」「彼ら」とは?誰でしょうか?わかりますね?そうです。反キリストは死と呼ばれ、地獄はそれに続きました。彼の4つのポイントの計画を見てください。

反キリスト、白馬:霊により殺す、一反キリストになり、霊的殺人

2番目は、赤い馬:剣、政治的権力によって殺されるその時統一されている教会と国家

黒い馬:売られていた:彼は彼の教義を配ったとき。彼女は彼女の淫行をして、そして彼は彼らがバランスとペニーなどのために、食料のためにそれを与えようとしていた。

4つ目、青白い馬:神からの永遠の分離、(再び4を、見てください)

ああ、なんということ!神を讃えましょう。

132 それでは最後に、ここにそれらの終わりに…あなたは手に入れています…か?時間が過ぎました。私にもう10分ほどくれませんか?私がここで話すことについて今日たくさんの電話を受けました。エリヤについては狂信的な発想が始まっているので、それはまさにそれが死に打ちのめされることです。そしてあなたは…[不明瞭な言葉]。私が見ていることを見るために、神様が私を助けてくださるようになっています。あなたもそうしますか?ただ見ようとして下さい。

さて、ここで閉じる事にします、教会の時代への最後の御使いは、エリヤで、その預言者、そのラインに油を注がれた人であると信じていない人たちへ…死後、(気を付けて)この最後の教会時代の死後、…さて、あなたは何か起こるか気付きます、そうです。死後、彼らの死体は野生の獣によって破壊されていきます。あなたはそれを知っています。さあ、それは本当です。同じように、彼らはイゼベルの性質を持っていました。

133 さあ、黙示録第2章18節と20節を開いてください。ほんの数分前にそうだったと思いますよね。ええ、私たちはまさにそれを得たと信じています。私はそれをいくつかのためにここに書き留めておきました…はい、道徳的な崩壊の時。それでした。いかにあったか、イゼベルがどのようにして入って来たのかを見てください。

さて、イゼベルは教会です…この近代的な教会です。今は花嫁じゃないのです。黙示録第2章18-20節の神の御言葉によれば、旧約聖書のイゼベルは今日の教会のタイプなのです。「この女は女預言者と自称し、わたしの僕たちを教え、惑わして…」その通りですね?さあ、それは完全にイゼベルに分類されています。

134 さあ、最初に…私たちはただ聖書の後にあなたに聖書を与えることができました、終わりの時代は元の御言葉に呼び戻すための教会への予言的なメッセージです。さて、気を付けてください。その通りですか?マラキ書第4章はそう言いました、そして他では - 黙示録第10章7節以降そうです。イエス様ご自身がそれを予測し、予測し、予測しました。「それはロトの時代にあったように…」そしてそれ以降もそのように預言しました。それはただ預言のように起こり続けています。

135 イゼベルが今日の教会の分類であるのは、カトリックとプロテスタントが今一緒に結ばれている所以です。それはまさに降り続けています。回避することはありません。彼らは両方とも宗派です、それでそれはただ母と姉妹なのです、それだけのことです。彼らは大騒ぎして互いに議論しますが、それは同じことです- 両方とも売春婦。今、私自身はそれを言いません。「このように主は言われる」から引用しているのです。大丈夫です。

今すべて気づきました。神の命令によって殺されたのは…。イゼベルは殺されました。なぜなら、神はそこに降りて彼女を窓から投げ出させ、イゼベルを殺させ、そして犬に彼女の肉を食べさせたからです。その通りですね?- 文字通りのイゼベル。アハブ、彼女の追うの頭、は最初のエリヤが予測したように、彼の血を犬が舐めたのでした。

136 さてどこに行くのでしょうかね? 何故?その最初のエリヤは教会によって拒絶された人でした。そして、イゼベルとアハブは彼らの教会- 教会と国家 と一緒にいた すべての責任者でした。そしてエリヤはアハ

ブの罪を彼に明らかにし、教会全体に真の言葉に引き返すように命じました。それが、この教会に来たときに、2人目のエリヤがしなければならないこととまったく同じではない場合、元の信仰を取り戻してください。どのようにしてあなたがそこから押し出されるのかわかりません。真の御言葉に戻りなさい。そのとおり。

ね？

137 さて、彼らの体を見たいのなら、ここで黙示録19章に戻しましょう、御言葉が彼らを殺した後。さて、御言葉が彼らを殺そうとしています。あなたはそれを知っています。大丈夫です、はい。さて、あなたはただ黙示録第19章17節の聖句から始まります、キリストが来る時に何が起こるのかを見えています。

そして私は御使が太陽の中に立っているのを見ました。

これはすぐ後のことです…ここを見てください。そしてその口からは諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。彼は、鉄のつえをもって諸国民を治め、鉄の棒でまた、全能者なる神の激しい怒りの酒船を踏む。その着物にも、そのももにも、「王の王、主の主」というながしるされていた。

(黙示録第19章15-16節[翻訳者]) 13節で、彼は神の言と呼ばれています。いま、ここで彼は王の王、主の主と呼ばれています。

また見ていると、ひとりの御使が太陽の中に立っていた…[さあ、見て下さい。彼は進みます。]

その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。

[彼の口の外で、神の口からモーセの口のように、] 彼は鉄のつえをもって諸国民を治め、また、全能者なる激しい怒りの酒ぶねを踏む。その着物にもそのももにも、「王の王、主の主」と言う名が記されていた。

また見ていると、ひとりの御使が太陽の中に立っていた…

さあ見て下さい。彼は打ちます。誰に彼は誰を打ちますか？イゼベルと彼女のアハブ、偽預言者。また見えていると、ひとりの御使が太陽の中に立っていた。彼は大声で叫んだ、「さあ、神の大宴会に集まってこい。」(黙示録第19章15-17節[翻訳者])

138 そうです、彼は彼らを獣と鳥に与えました。さて、ここでもう1つの黙示録の書物の章を見てください。(ちょっと待って下さい。),「…およびつるぎと、ききんと、死と、地の獣らとによって人を殺す權威とが、与えられた(黙示録6章8節[翻訳者])」。彼女の実体であるイゼベル教会は、地の鳥や獣によって食べられることです。アハブとイゼベルが自然の中にいたのと全く同じように、彼らは教会の霊的な形にあるべきです。私の言っていることがわかりますね？その通りです。

139 エリヤはアハブとイゼベルの時代の預言者として、自然なままの。そして彼は同じようにすることを約束している。そのようにして、イゼベルの霊的な言葉、彼の霊的な聖職者の言葉に「主が仰せられる」によるものだったからです。

エリヤが彼の日のうちに適切かつ深く証明していたにもかかわらず、彼らを御言葉に戻すことは出来ませんでした。その通りですか？エリヤは全力を尽くしましたが…彼は全力を尽くしました。彼は彼らにしるしと奥義を見せ、彼らは彼を嘲笑しました。彼らは霊的なことに対しても同じことをしました、そうです。彼はその通りですか？エリヤは全力を尽くしましたが…彼は全力を尽くしました。彼は彼らにしるしと奥義を見せ、彼らは彼を嘲笑しました。彼らは霊的なことに対しても同じことをしました、そうです。彼は彼らを御言葉に戻せませんでした。

140 数百万のうち…さあ、教会よ聞け、今すぐ閉じなさい、あなたはこれについて混乱することになるでしょう。エリヤの時代の世界の何百万人もの人々のうち—イゼベルとアハブが今日、全世界の中で反キリストの種別において支配していたとき—エリヤの説教はたった700人しか救われていませんでした。そうですよね？間違いなく。

見て、エリヤはそのうちの1人でさえそのようにしていることを知りませんでした。神が封印の1つを開けて書物の奥義を彼に示されるまで、彼は自分が救われた唯一の者であると考えました。彼が持っていたのは、700人が彼らが持っていた信条に彼らが屈しなかったということです。神がエリヤに彼の書物を開いたとき、彼は言いました、「さて、ちょっと待って、息子よ。そこに隠されている700を持っています。彼らは世界の

創造以来、書物に彼らの名を記しています。それらは私のものです。ひえー！神が封印を開きました。ヨハネがほかの夜に泣き叫んだと考える理由です。彼は自分の名前をそこに見たに違いません、そうです。ある日神は開いたのです…。

141 エリヤ、彼は説教をしていました。あらゆることをしていました。彼の心をすべて出し彼が出来るあらゆることを説教し、それでも彼らは正に彼に「サンザシ」で、彼は彼の心を説いて彼が全力を尽くしたにもかかわらずそれでも彼等を彼に「サンザシ」にし、そして彼をすべてと呼びました。そして「あなたがこのすべての原因である。あなたは霊性主義者です。あなたはこれらすべての問題を解決するのです。あなたは有罪です、」そしてすべてがその様でした。彼らは何もかも彼に言いました。イゼベルは頭を切ると脅しました。その通り。全員が彼に反対しました。

そしてそれから彼は言いました。…「主よ、私がしたことをすべて終えた後、あなたは私にするように言われたように…あなたのことばに正確にとどまっています。あなたが私に何か言ったとき、私は大胆不敵でした。私は王の顔やそれ以外のすべてのもののの中にまっすぐ歩いて行き、彼らに言いました、「主がそう仰せられる」と。そして、あなたは私に何かを言っていない、彼らに1つのことを言っていないが、何が起こったのか。そして今ここにいるのは私1人、全員のうち1人だけでした。私は残っている唯一の人です、そして、彼らは私を殺そうとしています。

142 神は言われた、「1つの封印を開けて何かを見せよう」。彼は言いました、「あなたがご存じにののように、私はそこに戻って膝をついてお辞儀をしたり、それらのいずれかにまだ参加したことがない700人のものが出てそこにいる700人宗派に属していません。」そこにいる700人の彼らは携挙の準備が出来ている、そうです。ああ！彼は彼の預言者に言いました(誰が、自分の御言葉を明らかにし、聖書を通してみるのか)、「私はこの世代からまだ700人の準備された名前があります、それらのうちの700人。彼らは膝を誰にも曲げていません。[もし私がこの日にそのようなことを言ったなら] 宗教団体そして新庄によっては彼らの中で「忍び寄ってくるのです。」

あなたは私が何を意味するかわかりますか？それはそれだけでなければなりません。彼は言いました、「あなたは知っています、まだ膝を下げたり、それらのどれにも参加していないことを、そこに戻ってきました、宗派です。彼は彼の預言者(彼が彼の言葉を明らかにし、聖書を通して見ることを明らかにしている)に言った、「私はこの世代のうち、まだ700の準備された名前を持っています。この日にそれを言いなさい。」それはちょうどなるようになった。彼は誰の信条にも負けないし、他には何もしない。そうです。

143 彼はエリヤのような、そしてヨハネのような、森のような仲間の仲間になるでしょう。彼は女性を嫌うよ(何と!)、不道德な女性少年、やれやれ！彼は彼らに迷い込むでしょう！エリヤはそれを行いまた、ヨハネもそうでした。そして彼はその御言葉にまっすぐになるでしょう。彼は組織に反対するでしょう。組織？「自分の内に言わないように考えてください。『私たちは父親にアブラハムを持っている。』とだから悔い改めにふさわしい実を結べ。自分たちの父にはアブラハムがあるなどと、心の中で思っても見るな。おまえたちに言うておく。神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子を起こすことが出来るのだ。」確かにやりました。

さあ、そこなんです友よ。これが第4の封印が開いたところで、4頭の馬の騎士は私の知る限りで明らかにされています。さて、地上で起こったことはこれだけです。次の封印は、魂が祭壇の下にいる天国にあります。私たちが見る次の封印は魂が祭壇の下に天国にあります。

144 さて閉じるところでこれらの数語を話したいのです。書き留めていいです。これらの4つの封印、最初の4つの封印については飛ばしました。明日の夜、地球上のものから景色が変わります。彼はここを見上げて、祭壇の下に魂、犠牲祭壇を見ます。次の夜、判決は言い渡されました。そして最後の夜の4日目の夜、日曜日の夜…。私はまさにあなたがしたようにそれらを読みます、しかし30分の間沈黙があります。しかし、何かが起こったのです。私は彼がそれを明らかにすることを期待しています。彼はやります。

私たちはキリストの到来が反キリストを殺すことを示すために、黙示録第19章まで、聖書の様々な場所に行かなければならませんでした。それが私にこれを去らなければならなかった理由です、ちょうど彼らに2つの節を取ってください。私はこれらのことを証明するために聖書のさまざまな部分に行かなければならませんでした。ですから、反キリストの終わりがキリストの殺害であることを示すために、黙示録19節に行ったのはそのためです。彼が来るとき、彼は反キリストを殺害するでしょう。

145黙示録第10章が7番目の御使のメッセージではこの中の人になるでしょう終わりの日、預言者が持っていたエリヤのように(マラキ書4章で予測されているように)聖職者のために神に油を注がれ、この世代

の原神の本当の御言葉 - この世代の原始の神の御言葉を明らかにする。彼が自然のイゼベルにしたように、この人はそれが正しいことを証明するために霊的なイゼベル宗派の教会の数々。

私が第7章または第10章1から7節に行かなければならなかった宗派の教会にそれをします。それをアモスなど証明するために。エリヤはその特定の時代においてイゼベルを預言し非難した預言者であり、エリヤは決して死にませんでした。彼は確かにそうではありませんでした。彼は約800年後に再び変容山の上のイエス・キリストのそばに現れました。彼は死んではいませんでした。

146 さて、私たちは彼の霊がおわりの日に神の約束に従って人に油を注ぐことであることが分かります。それは終わりの時に自然なイゼベルであったように、霊的イゼベルで同じことをすると約束されました。

だからこそ私はそれを証明するために聖書の大部分に行き、それがあなたの心に疑問を残さないようにしています。もしあるのであれば、知らせてください。手紙かちょっとしたメモを書いてください…そしてそれはおわりの日に彼らの自然な体を破壊する獣たちにさえ、彼らがしたようにそれらを消費しても、とても完璧に溶け合っています。

147 神から与えられたことを最大限に伝え、それが行われると予言したのは、これが4人の騎士の知る限りの事実です。

イエスについてどう思いますか。

愛する人、愛する人、

愛する人、愛する人、

そして私の救いを贖ったカルバリーの木

[賛美歌詞(翻訳者)]

148 さて、覚えておいてください。神はカトリック組織の子供たちを持っているからです。メソジスト組織の中にも彼の子供がいます。彼はバプテスト組織にも彼の子供がいます。今夜ここで表されているのは、あなたが光を見たときにそこから出てくる、それらのうちどれだけの数の異なる組織なのか？あなたの手を見てみましょう。覚えておいてください、あなたと同じようにそこに人がいるのですが、それは殺すのは組織です。見てください。それは彼らが真実を聞かないで、しないまでの場所に最終的に連れて行くのは反キリストの霊なのです。

149 そして我々が封印を通過したときの他の夜を覚えていますか？男がヨベルの呼び声を聞いて、彼が自由になることを拒否した場合、彼はポストに連れて行かれ、突き抜けたものが彼の耳に封印を付けました。耳はあなたが音を聞くところです。そして信仰は聞くことによってやってきます。それから彼がそれを聞き、彼の自由を受け入れることを拒絶すれば、そして彼は彼の宗派の達人に彼の人生の残りを奉仕しなければなりません。アーメン

ああ、なんということ！素晴らしいじゃないですか？

彼を愛します、彼を愛します

(今、私たちの手を挙げて、彼を崇拜しましょう。)

初めに別れが私を愛してくれたから、

そして私の救いをカルバリーの木で贖いました。

ありがたいです。

主よ、あなたとあなたの人々のためにとっても幸せです。

ああ、主よ、あなたは私たちの救いをカルバリーで贖いました。

私たちは喜んでそれを受け入れます、主よ。[賛美歌詞(翻訳者)]

さあ、あなたの霊によって私たちを試してみてください。

150 主よ、どれほど私たちは感謝していることでしょうか。私はとてもうれしいです、主よ、あなたにとってもあなたの民にとっても、とても幸せです。ああ、主よあなたはカルバリーで私たちの救いを贖いました。私たちは喜んでそれを受け入れます、主よ。主よ、あなたの霊によって、私たちを試みて下さい。私たちの間に悪意があれば、御言葉の不信、ここにいるすべての人、父よ、神の約束を「アーメン」で区切らないで下さい。聖霊が降りてくるのは、白馬の騎士であり、彼の聖霊-キリストの精神は反キリストに直面しています…そして彼自身を呼んでください、主よ。

それらを呼び出してください、主よ、彼らは悔い改め、あなたのところにすぐに来て、そして油とぶどう酒でいっぱいになり、そしてその宗派の死のローブから永遠の命の真っ白なローブに、花婿によって与えられたものに変えられるかもしれません。そして、彼らは復活の言葉で示された言葉で結婚式の夕食にいつか行くでしょう。それを与えてください、主よ。人々があなたを待っている間に、イエスの御名によって心をお探りください。

151 さあ、あなたの心を兄弟、姉妹、友達を探ってください。長い間あなた方と一緒にいます。約33年です。主の御名のもとにあなた方に話したことで、なされなかったことがありますか？チャンスがあるうちに、今キリストを見つけてください。あなたがそれをするのができない時が、かなりすぐに来る可能性があります。そうです。彼はとりなしのためにいつでも席を離れる可能性があります。それから、あなたは心を叫んだり、足踏みしたり、異言で話したり、床を上下に走ったり、世界のあらゆる教会に加わったりすることができました。何もありません、あなたの罪のためのこれ以上のものはありません。それではあなたは何かができますか？どこに居ますか？

152 さて、私は心から信じています、席はまだ開いています。私は彼がまだ神の御座におられると信じています。しかしすぐに彼は今上昇し、彼が償ったことを主張するためにやってくるでしょう。ルツが待っている間、彼は同族の償いの仕事をしています。しかし、すぐに、ボアズが同族の仕事をした後、彼は彼の所持品を持って来たと主張しました。そしてそれはまさに聖書で彼がしたと言ったことです。彼は出てきて書物を取りました。それからとりなしが終わり、彼は王座から離れています。慈悲の席にはもう血がありません、それからそれは何ですか？裁判席。

最近では言われてはいけません、「携挙があることになっていると思いました」と声をかけて「これは過去のことだ」と言うのを聞きます。神はあなたを助けます。それでは、頭を下げてください。

ネヴィル兄弟は解任するためにやってくるか、あなたがしなければならないことなら何でも。神は明日の夜まであなたを祝福します。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランハム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7